

公社会館外壁改修工事

図面リスト					
建 築			電気設備・機械設備		
A-01	表紙・図面リスト	A-16	外壁下地改修図(1)	E-01	電気設備 1階・2階 平面図
A-02	特記仕様書(1)	A-17	外壁下地改修図(2)	E-02	電気設備 3階・R階 平面図
A-03	特記仕様書(2)	A-18	外壁下地改修図(3)	E-03・M-01	電気設備・機械設備 立面図
A-04	特記仕様書(3)	A-19	外壁下地改修図(4)		
A-05	特記仕様書(4)	A-20	外壁下地改修図(5)		
A-06	付近見取図・工事概要・外部改修仕上表	A-21	外壁下地改修図(6)		
A-07	配置図兼1階平面図, 2階平面図				
A-08	3階・R階 平面図				
A-09	立面図(改修前・改修後)				
A-10	建具表				
A-11	1・2・3階 天井伏図				
A-12	改修前 矩計図				
A-13	改修後 矩計図				
A-14	改修前 屋外階段 断面詳細図				
A-15	改修後 屋外階段 断面詳細図				

建築改修工事特記仕様書

工事概要

項目	特記事項
1. 工事名称	公社会館外壁改修工事
2. 工事場所	久留米市中央町23-16
3. 工事種別	・内装改修○外壁改修○防水改修・耐震改修・屋根改修・建具改修 ○塗装改修○環境配慮改修・増築・改築・（ ）
4. 建物概要	主要用途：事務所 構造：鉄筋コンクリート造 階数：3階建 建築面積： 延べ面積：505.50㎡ ○電気設備工事○機械設備工事・駐車場整備工事・植栽工事 ・外構工事・（ ）・（ ）・（ ）
5. 関連工事	
6. その他	

建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和7年版)」による。
なお、上記仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和7年版)」により、解体工事を含む場合は「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」による。

2. 特記仕様の適用

1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○のない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と※印のある場合は、○印を適用する。
○印と※印のある場合は、共に適用する。
3) 各項目に記載の()内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、図、表を示す。
4) 形状寸法の単位は、特記なき限りミリメートルとする。
5) 標準仕様書の「監督職員」は「監督員」と読み替える。

3. CADデータ

※有・無
貸与するCADデータを当該工事における施工図及び完成図を作成するため以外に使用してはならない。(設計図書の図面が優先であり、相違のないことを確認しCADデータを使用すること) これに基づく完成図のCADデータの著作権は本市に帰属する。また貸与したCADデータは工事完成検査までに返却すること。

1章 各章共通事項

項目	特記事項
① 適用基準等	(1節 共通事項) ・建築工事標準詳細図(令和4年版) ・建築構造設計基準(令和3年版)、建築構造設計基準の資料(令和3年版) ・壁式構造配筋指針・同解説(2013) ・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2021) ・営繕工事写真撮影要領(令和5年版) ・工事写真撮影ガイドブック【建築工事編及び解体工事編】(令和5年版)
2. 工事実績情報 ｼｬﾏ(CORINS)への登録 (1.1.4)	請負金額500万円以上の工事は、監督員の確認を受けた後に、当該工事に関するデータを(財)日本建設情報総合センター(JACIO)に次の区分(受注時、登録内容の変更時、工事完成時)で10日(土日祝日を除く)以内に登録し、「登録内容確認書」を監督員に提出すること。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の「登録内容確認書」の提出を省略できる。
⑤ 工事の一時中止に係る事項 (1.1.9)	1) 工事請負契約書約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
4. 埋蔵文化財 その他の物件 (1.1.12)	工事の施工に当たり、埋蔵文化財その他の物件を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告する。その後の措置については、監督員の指示に従う。 なお、工事に関連した埋蔵文化財その他の物件の発見に係る権利は、発注者に帰属する。
⑤ 施工計画書 (1.2.2)	(2節 工事関係図書) (1) 工事の着手に先立ち、総合施工計画書を監督員に提出する。 (2) 施工計画書の作成に当たり、関連工事の関係者と調整のうえ、十分検討する。 (3) 各工事の施工に先立ち、品質計画、施工の具体的な計画並びに一工程の施工の確認内容及びその確認を行う段階を定めた工程別施工計画書を監督員に提出する。ただし、小規模な工種については、監督員との協議による。 (4) 施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督員の承諾を受ける。また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は監督員の承諾を受ける。

1章 各章共通事項(つづき)

項目	特記事項																																		
6. 電気保安技術者 (1.3.3)	(3節 工事現場管理) ・配置する・配置しない																																		
⑦ 施工条件 (1.3.5)	標準仕様書1.3.5(1)以外の施工条件()																																		
⑧ 発生材の処理等 (1.3.12)	・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物・有※無 ・現場にて再利用を図るもの() ・再資源化を図るもの・コンクリート塊・7ｽﾌｯﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊・木材																																		
⑥ 既存部分等への 処置 (1.3.13)	工事施工に際し、既存部分を汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに、承諾を受けて原状に準じて補修すること。																																		
⑩ 材料の品質等 (1.4.2)	(4節 材料) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関〔一社〕公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」]の評価書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定、又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料(「建築材料・設備材料等品質評価事業」において評価書が発行されている材料) 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、防水剤、アルミニウム製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地)、樹脂製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地)、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた																																		
⑪ 事前調査 (1.5.1)	(5節 石綿含有建材の調査) 事前調査の範囲・図示・() 既存設計図書の貸与○有・無 石綿含有建材の調査報告書の貸与○有・無 石綿分析調査の実施・実施する(分析方法：) ○実施しない																																		
⑫ 調査のための 破壊部分の補修 (1.6.3)	(6節 施工調査) 既存部分の破壊を行った場合の補修方法・図示○同材による補修																																		
13. 技能士 (1.7.2)	(7節 施工) ・適用する※適用しない <table><tr><th>適用工事種別</th><th>適用する技能検定の種類</th></tr><tr><td>・土工事</td><td>・ウェルポイント施工</td></tr><tr><td>・鉄筋工事</td><td>・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)</td></tr><tr><td>・コンクリート工事</td><td>・型枠施工・コンクリート圧送施工</td></tr><tr><td>・ブロック、ALC工事</td><td>・ブロック建築・エーエルシーパネル施工</td></tr><tr><td>・防水工事</td><td>・防水施工(作業)</td></tr><tr><td>・石工事</td><td>・石材施工(作業)</td></tr><tr><td>・タイル工事</td><td>・タイル張り</td></tr><tr><td>・木工事</td><td>・建築大工</td></tr><tr><td>・屋根及びとい工事</td><td>・建築板金(内外装板金作業)・かわらぶき</td></tr><tr><td>・金属工事</td><td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)・バルコニー施工</td></tr><tr><td>・左官工事</td><td>・左官</td></tr><tr><td>・建具工事</td><td>・サッシ施工・ガラス施工・自動ドア施工</td></tr><tr><td>・カーテン工事</td><td>・カーテンウォール施工</td></tr><tr><td>・塗装工事</td><td>・塗装(作業)</td></tr><tr><td>・内装工事</td><td>・内装仕上げ施工(作業)・表装(壁装作業)・熱絶縁施工(吹付け硬質ﾎﾙﾑﾌｫｰﾑ断熱工事作業)</td></tr><tr><td>・その他</td><td>・とび・建築大工・枠組壁建築</td></tr></table>	適用工事種別	適用する技能検定の種類	・土工事	・ウェルポイント施工	・鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	・コンクリート工事	・型枠施工・コンクリート圧送施工	・ブロック、ALC工事	・ブロック建築・エーエルシーパネル施工	・防水工事	・防水施工(作業)	・石工事	・石材施工(作業)	・タイル工事	・タイル張り	・木工事	・建築大工	・屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)・かわらぶき	・金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)・バルコニー施工	・左官工事	・左官	・建具工事	・サッシ施工・ガラス施工・自動ドア施工	・カーテン工事	・カーテンウォール施工	・塗装工事	・塗装(作業)	・内装工事	・内装仕上げ施工(作業)・表装(壁装作業)・熱絶縁施工(吹付け硬質ﾎﾙﾑﾌｫｰﾑ断熱工事作業)	・その他	・とび・建築大工・枠組壁建築
適用工事種別	適用する技能検定の種類																																		
・土工事	・ウェルポイント施工																																		
・鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立て作業)																																		
・コンクリート工事	・型枠施工・コンクリート圧送施工																																		
・ブロック、ALC工事	・ブロック建築・エーエルシーパネル施工																																		
・防水工事	・防水施工(作業)																																		
・石工事	・石材施工(作業)																																		
・タイル工事	・タイル張り																																		
・木工事	・建築大工																																		
・屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)・かわらぶき																																		
・金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)・バルコニー施工																																		
・左官工事	・左官																																		
・建具工事	・サッシ施工・ガラス施工・自動ドア施工																																		
・カーテン工事	・カーテンウォール施工																																		
・塗装工事	・塗装(作業)																																		
・内装工事	・内装仕上げ施工(作業)・表装(壁装作業)・熱絶縁施工(吹付け硬質ﾎﾙﾑﾌｫｰﾑ断熱工事作業)																																		
・その他	・とび・建築大工・枠組壁建築																																		

1章 各章共通事項(つづき)

項目	特記事項																									
14. 化学物質の濃度 測定 (1.7.9)	・測定する※測定しない 測定時期※施工完了時・その他() 測定物質・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン ・エチルベンゼン・スチレン・パラジクロロベンゼン 測定方法※パッシブ測定・アクティブ測定 測定対象室※図示・監督員の指示による 測定箇所()室()箇所 測定基準※室内空気中化学物質の測定マニュアル及び指針値(厚生労働省)・学校環境衛生基準(文部科学省) (9節 完成図等) ○完成図等○完成写真・保全に関する資料																									
⑬ 完成時の提出 図書 (1.9.1)																										
⑬ 完成図等 (1.9.2)	※完成図※施工図(構造躯体)・()【各1部】 用紙サイズ※発注図に準じる データ形式※CADデータ※PDFデータ																									
17. 保全に関する 資料 (1.9.3)	※提出する(1部) (7)建築物等の利用に関する説明書 (4)機器取扱い説明書 (7)機器性能試験成績書 (2)官公署届出書類 (6)主要な材料・仕上・機器一覧表等 (6)施工業者一覧表および連絡先 (4)各種保証書 (7)その他監督員が指示する書類 下記のものを監督員に提出する。 <table><tr><th>区分</th><th>分類</th><th>規格</th><th>部数</th><th>備考</th></tr><tr><td>※工事写真</td><td>※カラー</td><td>※E版 (82×120)</td><td>※1部</td><td>着工前、工事中 竣工後</td></tr><tr><td>※完成写真</td><td>※カラー</td><td>※2L版 (127×178)</td><td>※1部 ・2部</td><td>電子データ提出(1部)</td></tr><tr><td>・実態調査用</td><td>※カラー</td><td>※E版 (82×120)</td><td>※2部</td><td></td></tr></table> 工事写真の黒板等には撮影日付を明示する。 完成写真はアルバム等で作成し、提出する 電子データはRGB(ﾌｫﾙﾎﾞｰ)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rに提出する。 完成写真の撮影業者・監督員の承諾する専門業者または撮影者	区分	分類	規格	部数	備考	※工事写真	※カラー	※E版 (82×120)	※1部	着工前、工事中 竣工後	※完成写真	※カラー	※2L版 (127×178)	※1部 ・2部	電子データ提出(1部)	・実態調査用	※カラー	※E版 (82×120)	※2部						
区分	分類	規格	部数	備考																						
※工事写真	※カラー	※E版 (82×120)	※1部	着工前、工事中 竣工後																						
※完成写真	※カラー	※2L版 (127×178)	※1部 ・2部	電子データ提出(1部)																						
・実態調査用	※カラー	※E版 (82×120)	※2部																							
⑬ 保証書	特記に保証期間を明記した工事及び材料については、メーカー・施工者・受注者連名の保証書の提出を基本とし、その様式について監督員と協議すること。 特記なき限り、保証開始日は本検査日または手直し工事完了日の翌日からとする。																									
⑭ 完成図等の 取扱い	完成図等の著作権に係わる、当該建築物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。																									
2章 仮設工事																										
項目	特記事項																									
① 足場等 (2.2.1) (表2.2.1)	(2節 足場等) 仮設足場・枠組足場(手すり先行)○くさび緊結式足場(手すり先行) ※図示 落下防止※図示・養生シート(防炎Ⅱ類)○ネット状養生シート(防炎Ⅱ類)・防音シート 仮囲い※図示・() 運搬方法・表2.2.1による																									
② 既存部分の養生 (2.3.1)	(3節 養生) 既存部分の養生※ビニールシート等・図示 既存家具、既存設備等の養生※ビニールシート等・図示 固定家具等の移動・行う(図示)・行わない 既存ブラインド、カーテンの養生、保管場所は図示による <table><tr><th>種別</th><th>下地</th><th>仕上材(厚さmm)</th><th>充填材</th><th>塗装仕上</th></tr><tr><td>・A種</td><td>・軽量鉄骨 ・木下地</td><td>・合板(※9・12)両面 ※せこうボード(※9.5・12.5)</td><td>・ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (厚さ50mm)</td><td>※無し ・片面</td></tr><tr><td>※B種</td><td>・軽量鉄骨 ・木下地</td><td>・合板(※9・12)片面 ※せこうボード(※9.5・12.5)</td><td></td><td>※無し ・片面</td></tr><tr><td>・C種</td><td>※単管下地</td><td>※防炎シート・防音シート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※仮設扉</td><td>※木製扉 ・鋼製扉</td><td>・合板張り程度 ※片面フラッシュ程度</td><td>・ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (厚さ25mm)</td><td>※無し ・片面</td></tr></table>	種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材	塗装仕上	・A種	・軽量鉄骨 ・木下地	・合板(※9・12)両面 ※せこうボード(※9.5・12.5)	・ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (厚さ50mm)	※無し ・片面	※B種	・軽量鉄骨 ・木下地	・合板(※9・12)片面 ※せこうボード(※9.5・12.5)		※無し ・片面	・C種	※単管下地	※防炎シート・防音シート			※仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	・合板張り程度 ※片面フラッシュ程度	・ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (厚さ25mm)	※無し ・片面
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材	塗装仕上																						
・A種	・軽量鉄骨 ・木下地	・合板(※9・12)両面 ※せこうボード(※9.5・12.5)	・ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (厚さ50mm)	※無し ・片面																						
※B種	・軽量鉄骨 ・木下地	・合板(※9・12)片面 ※せこうボード(※9.5・12.5)		※無し ・片面																						
・C種	※単管下地	※防炎シート・防音シート																								
※仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	・合板張り程度 ※片面フラッシュ程度	・ｸﾞﾗｽｸｰﾙ (厚さ25mm)	※無し ・片面																						
3. 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)																										
4. 監督員事務所等 (2.4.1)	(4節 仮設物) ・設置する(㎡程度)※設置しない 監督員事務所の設備、備品等 ※備品等の種類、数量はリストを提出して承認を受ける ・カッパ・靴乾・ヘルメット・軍手・安全帯・黒板 ・月工表黒板・机・椅子・書棚・打合せ台・()																									

2章 仮設工事(つづき)

項目	特記事項
⑤ 受注者事務所 その他	※受注者事務所(10㎡程度)・作業員休憩所(㎡程度) ※仮設便所・倉庫・作業所・() (ユニット大1,小1,手洗い)
⑥ 工事用水	構内既存の施設○利用できる(※有償・無償)※利用できない
⑦ 工事用電力	構内既存の施設○利用できる(※有償・無償)※利用できない
⑧ 工事表示板等	※工事表示板(1400×1100)※建設業の許可票※労災保険関係成立票 ※施工体系図※建退共標識・建築基準法による確認済の表示 ○(緊急連絡体制表)○(大気汚染防止法に基づく石綿含有事前調査結果等の掲示)
⑨ 交通誘導員	○配置する(5人以上)・配置しない 交通誘導員は、警備業者の警備員で交通の誘導に従事するものを配置することを原則とする。これによりがたい事情が生じた場合は、監督員と協議を行うこと。 なお、工事着手前に交通誘導員の配置計画について監督員と協議を行うと共に、工事完了時に、配置実績についての報告書(配置状況写真、勤務伝票写等を整理したもの)を提出すること。

3章 防水改修工事

項目	特記事項																																			
① 防水の保証書	(1節 共通事項) 防水工事は専門工事業者による責任施工とし、元請業者、防水施工業者、メーカーの三社連名による保証書を提出すること。																																			
2. アスファルト 防水 (3.3.2～5) (表3.1.1) (表3.3.1～11)	(3節 アスファルト防水) <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>新規防水層の種別</th><th>施工箇所</th><th>保証期間</th></tr><tr><td rowspan="4">保護 防水</td><td>・PIB</td><td>・B-1※B-2</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・PIBI</td><td>・BI-1※BI-2</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・P2AI</td><td>・AI-1※AI-2 ・AI-3</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・P2A</td><td>・A-1※A-2 ・A-3</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td rowspan="4">露出 防水</td><td>・M4C</td><td>・C-1※C-2 ・C-3・C-4</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・M3D</td><td>・D-1※D-2</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・P0DI</td><td>・M3DI</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・M4DI</td><td>・DI-1※DI-2</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>屋内 防水</td><td>・PIE</td><td>・P2E</td><td>・E-1※E-2 (保護層は図示)</td><td>※10年 ・</td></tr></table> ・押え金物※アルミニウム製・ステンレス製 ・屋根保護防水断熱工法断熱材材質 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) ・() 厚さ※25・30・35・40・50 ・屋根露出防水断熱工法断熱材材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種(1号・2号) ・() 厚さ※25・30・35・40・50 ・保護層材質※無筋コンクリート(8章11節)・軽量コンクリート 成形伸縮目地材・付着層タイプ・アンカータイプ 厚さ※80・100 ・立上り部の保護※乾式保護材(押出成型セメント板厚さ15mm) ・れんが(JIS R 5505)・コンクリート ・脱気装置※防水製造所の指定(数量および設置位置共)・図示 ・改修用ドレン※鋳鉄製・塩ビ製・図示 ・コンクリート仕上げの平たんさ(平場の保護コン)・a種・b種・c種 ・仕上塗料塗り※主材料の製造所の仕様による・()	防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	保証期間	保護 防水	・PIB	・B-1※B-2	※10年 ・	・PIBI	・BI-1※BI-2	※10年 ・	・P2AI	・AI-1※AI-2 ・AI-3	※10年 ・	・P2A	・A-1※A-2 ・A-3	※10年 ・	露出 防水	・M4C	・C-1※C-2 ・C-3・C-4	※10年 ・	・M3D	・D-1※D-2	※10年 ・	・P0DI	・M3DI	※10年 ・	・M4DI	・DI-1※DI-2	※10年 ・	屋内 防水	・PIE	・P2E	・E-1※E-2 (保護層は図示)	※10年 ・
防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	保証期間																																	
保護 防水	・PIB	・B-1※B-2	※10年 ・																																	
	・PIBI	・BI-1※BI-2	※10年 ・																																	
	・P2AI	・AI-1※AI-2 ・AI-3	※10年 ・																																	
	・P2A	・A-1※A-2 ・A-3	※10年 ・																																	
露出 防水	・M4C	・C-1※C-2 ・C-3・C-4	※10年 ・																																	
	・M3D	・D-1※D-2	※10年 ・																																	
	・P0DI	・M3DI	※10年 ・																																	
	・M4DI	・DI-1※DI-2	※10年 ・																																	
屋内 防水	・PIE	・P2E	・E-1※E-2 (保護層は図示)	※10年 ・																																
3. 改質アスファルト シート防水 (3.4.2～4) (表3.1.1) (表3.4.1～3)	(4節 改質アスファルトシート防水) <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>新規防水層の種別</th><th>施工箇所</th><th>保証期間</th></tr><tr><td rowspan="4">露出 防水</td><td>・M4AS</td><td>・AS-T1・AS-T2 ・AS-J2</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・M3AS</td><td>・POAS</td><td>・AS-T3・AS-T4 ・AS-J1・AS-J3</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・M3ASI</td><td>・M4ASI</td><td>・ASI-T1</td><td>※10年 ・</td></tr><tr><td>・POASI</td><td>・ASI-J1</td><td></td><td>・</td></tr></table> ・押え金物※アルミニウム製・ステンレス製 ・断熱材材質・硬質ウレタンフォーム断熱材2種(1号・2号) ・() ・脱気装置※防水製造所の指定(数量および設置位置共)・図示 ・改修用ドレン※鋳鉄製・塩ビ製・図示 ・防湿用シートの設置(ASI-T1、ASI-J1の場合)・図示 ・仕上塗料塗り※主材料の製造所の仕様による・()	防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	保証期間	露出 防水	・M4AS	・AS-T1・AS-T2 ・AS-J2	※10年 ・	・M3AS	・POAS	・AS-T3・AS-T4 ・AS-J1・AS-J3	※10年 ・	・M3ASI	・M4ASI	・ASI-T1	※10年 ・	・POASI	・ASI-J1		・															
防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	保証期間																																	
露出 防水	・M4AS	・AS-T1・AS-T2 ・AS-J2	※10年 ・																																	
	・M3AS	・POAS	・AS-T3・AS-T4 ・AS-J1・AS-J3	※10年 ・																																
	・M3ASI	・M4ASI	・ASI-T1	※10年 ・																																
	・POASI	・ASI-J1		・																																

特記事項

一般財団法人久留米市開発公社

協同組合久留米建築設計協会

設計事務所
〒830-0855
福岡県久留米市新倉川1丁目4番7号
K&K建築設計内
TEL・FAX 0942-43-6533

協同組合久留米建築設計協会
一般建築士事務所
福岡県知事登録第1-60206号

設計協力事務所(電気・機械)

工事名
公社会館外壁改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書(1)

縮尺
NO SCALE

設計年月日
R07.11

図面番号
A-02

3 章 防水改修工事（つづき）					4 章－1 外壁改修工事（共通事項）					4 章－1 外壁改修工事（共通事項）（つづき）					4 章－3 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）（つづき）					
項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			
4. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2～4) (表3.1.1) (表3.5.1～3)	(5節 合成高分子系ルーフィングシート防水)				① 施工数量調査 (1.6.2)	(1節 共通事項) 調査範囲 ㊦外壁改修範囲 ・図示 調査方法（調査報告書の提出部数 ※1部） ひび割れの幅及び長さ等を壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 なお、図面との整合性を確認し、相違がある場合は監督員と協議すること。	・既製調合モルタル			・ポリマーセメントスラリー			⑦ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.8)	既存モルタル面の欠損部						
	工法の種類		新規防水層の種類				厚さ(mm)		使用分類		保証期間			改修工法の種類		材料		品質・規格等		
	・POS ・S4S		・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2				・1.2 ・1.5 ・2.0		・非歩行 ・軽歩行		※10年			㊦充填工法		㊦㊦リマセメントモルタル ㊦㊦㊦杉樹脂モルタル				
	・POS1 ・S4S1		・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2				・1.2 ・1.5 ・2.0		・非歩行 ・軽歩行		※10年			・モルタル塗替え工法		(4.3.5)による		塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う(図示) ・行わない		
	・S3S ・S3S1		・S-F1 ・S-F2 ・S1-F1 ・S1-F2				・1.2 ・1.5 ・2.0		・非歩行 ・軽歩行		※10年									
	・M4S ・M4S1		・S-M1 ・S-M2 ・S1-M1 ・S1-M2				・1.2 ・1.5 ・2.0		・非歩行 ・軽歩行		※10年									
	・P1S		・S-C1				・1.0		・非歩行 ・軽歩行		※10年									
	・仕上塗料塗り ※主材料の製造所の仕様による ・(遮熱仕様) ・絶縁用シート ※発砲ポリエチレンシート ・防水製造所の仕様による ・固定金具 材質 ・鋼板 ・ステンレス鋼板 ・(形状 ※図示 ・(防水製造所の仕様による) 厚さ ※0.4mm ・(防水製造所の仕様による) ・断熱工法 ※防水製造所の仕様による ・(・脱気装置 ※防水製造所の指定(数量および設置位置共) ・図示 ・防湿用フィルムの設置 (S1-M1、S1-M2の場合) ・図示 ・(・改修用ドレン ※鋳鉄製 ・塩ビ製 ・図示 ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とし、計算書及びその他の性能表を監督員に提出する						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ㊦ノックアウトフィルム工法 ・充填工法 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル				⑨ 既存タイル張りの撤去					
	(6節 塗膜防水)						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	防水改修工法の種類		新規防水層の種類				施工箇所		仕上等		保証期間			充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲
・POX		・X-1 ㊦X-2 ・X-1H ・X-2H		図示				※10年・		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ				
・L4X		・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H						※10年・		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70				
・PIY ・P2Y		※Y-2				※保護層		※10年		・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130				
										・可とう性㊦㊦杉樹脂		・		・						
⑤ 塗膜防水 (3.6.2～4) (表3.1.1) (表3.6.1～3)	(7節 シーリング)				② 使用材料 (4.2.4) (4.3.5) (4.4.5)	③ タイル部分張替え工法用材料	・可とう性エポキシ樹脂			・シール工法			⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.8)							
	防水改修工法の種類		新規防水層の種類				施工箇所		仕上等		保証期間		充填材料		品質・規格等		備考			
	・POX		・X-1 ㊦X-2 ・X-1H ・X-2H				図示				※10年・		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う			
	・L4X		・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H								※10年・		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70	
	・PIY ・P2Y		※Y-2						※保護層		※10年		・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130	
													・可とう性㊦㊦杉樹脂		・		・			
	・脱気装置 ※防水製造所の指定(数量および設置位置共) ・図示 ・改修用ドレン ※鋳鉄製 ・塩ビ製 ・図示						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	(7節 シーリング)						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	防水改修工法の種類		新規防水層の種類				施工箇所		仕上等		保証期間		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲	
	・POX		・X-1 ㊦X-2 ・X-1H ・X-2H				図示				※10年・		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ	
⑥ 改修工法の種類及び工程 (3.1.4) (表3.1.2)	(8節 シーリング材の種類及び施工箇所 ※図示				③ タイル部分張替え工法用材料	④ エポキシ樹脂モルタル	・可とう性エポキシ樹脂			・シール工法			⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.8)							
	施工箇所		種類				幅(mm)		深さ(mm)		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲			
	打継、誘発、建具廻り		㊦PS-2 ・MS-2				※ 図示		※10 ・12		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ			
	化粧目地		㊦PS-2 ・MS-2				※ 図示		※10 ・12		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70			
	底目地・バッド・タコ廻り		※PS-2 ㊦MS-2				※ 図示		※10 ・12		・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130			
											・可とう性㊦㊦杉樹脂		・		・					
	※簡易接着性試験 ・引張接着性試験						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	(8節 とい)						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	材種		径・大きさ				施工箇所		摘要		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲			
	・配管用鋼管								・防露巻き		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ			
⑦ 材料 (3.7.2) (表3.7.1)	⑩ 硬質ポリ塩化ビニル管 ㊦50φ ・75φ ㊦100φ 縦樋 ※カ-VP ・VP				④ エポキシ樹脂モルタル	⑤ ポリマーセメントモルタル	・可とう性エポキシ樹脂			・シール工法			⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.8)							
	硬質塩化ビニル雨どい		※図示 ・W120 ・軒樋				※前高 ・		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲					
	外部たてどい受金物		材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 間隔 ㊦1.200以下				・ステンレス製(SUS304) ・2.000以下		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ					
	外部軒とい受金物		材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 間隔 ※1.000以下				・ステンレス製(SUS304)		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70					
	下がり止め		鋼管製とい ※(3.8.3)(2)(7) d)による				硬質㊦リ塩化ビニル管製とい		・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130					
									・可とう性㊦㊦杉樹脂		・		・							
	※製造所の仕様による ㊦受金物毎に同材を上下						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	掃除口 ・設ける ※設けない						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	(9節 アルミニウム製笠木)						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	種類		呼称肉厚 製法				表面処理		コーナ部、突当り部等の役物		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲			
・押出250形1.6mm		※押出し		※B-1種		※製造所の仕様による		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ						
・押出300形1.8mm		・曲げ		・B-2種		・図示		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70						
・押出350形2.0mm								・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130						
11. 材料 (3.9.2) (表3.9.1)	板材折曲げ形 板厚 ※2.0 ・(・シール形式				⑤ ポリマーセメントモルタル	⑥ ポリマーセメントモルタル	・可とう性エポキシ樹脂			・シール工法			⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)							
	板材折曲げ形 板厚 ※2.0 ・(・シール形式		板材折曲げ形の取付方法 ※図示 ・(・シール形式				充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲							
	・押出250形1.6mm		※押出し				※B-1種		※製造所の仕様による		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ			
	・押出300形1.8mm		・曲げ				・B-2種		・図示		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70			
	・押出350形2.0mm										・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130			
	・図示										・可とう性㊦㊦杉樹脂		・		・					
	※製造所の仕様による ㊦受金物毎に同材を上下						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	掃除口 ・設ける ※設けない						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	(9節 アルミニウム製笠木)						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	種類		呼称肉厚 製法				表面処理		コーナ部、突当り部等の役物		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲			
・押出250形1.6mm		※押出し		※B-1種		※製造所の仕様による		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ						
12. 工法 (3.9.3)	板材折曲げ形 板厚 ※2.0 ・(・シール形式				⑤ ポリマーセメントモルタル	⑥ ポリマーセメントモルタル	・可とう性エポキシ樹脂			・シール工法			⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)							
	板材折曲げ形 板厚 ※2.0 ・(・シール形式		板材折曲げ形の取付方法 ※図示 ・(・シール形式				充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲							
	・押出250形1.6mm		※押出し				※B-1種		※製造所の仕様による		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ			
	・押出300形1.8mm		・曲げ				・B-2種		・図示		・手動式㊦㊦杉樹脂 注入工法		0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満		※50～100 ※100～200		※40 ※70			
	・押出350形2.0mm										・可とう性㊦㊦杉樹脂		0.5以上～1.0未満		※150～250		※130			
	・図示										・可とう性㊦㊦杉樹脂		・		・					
	※製造所の仕様による ㊦受金物毎に同材を上下						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	掃除口 ・設ける ※設けない						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	(9節 アルミニウム製笠木)						・可とう性エポキシ樹脂				・シール工法				⑩ 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.6)					
	種類		呼称肉厚 製法				表面処理		コーナ部、突当り部等の役物		充填材料		品質・規格等		備考		撤去範囲			
・押出250形1.6mm		※押出し		※B-1種		※製造所の仕様による		・シーリング材		※1成分形又は2成分形 ㊦㊦㊦シリコン系シーリング材		㊦リマセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う		※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ						

特記事項	一般財団法人 久留米市開発公社	設計事務所 〒839-0865 福岡県久留米市新倉新II丁目4番7号 K&C建築設計事務所 TEL・FAX 0942-43-6533	協同組合 久留米建築設計協会 一級建築士事務所 後援 厚生 一般建築士 第 243539 号 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-60206 号	工事名 公社会館外壁改修工事	縮尺 NO SCALE
	協同組合 久留米建築設計協会	設計協力事務所(電気・機械)		図面名称 建築改修工事特記仕様書(2)	設計年月日 R07.11 図面番号 A-03

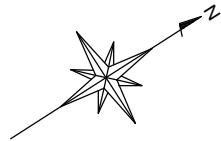
4 章－4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）（つづき）					5 章 建具改修工事					5 章 建具改修工事（つづき）					5 章 建具改修工事（つづき）																																																																																																																																												
項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項																																																																																																																																										
⑫ 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.4.9～15)		改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m2)		注入口の箇所数 (箇所/m2)	充填量				14. 材料 (5.4.3)		点検口の類のくつずりの材料 ・ ()	30. 性能、機構 (つづき)		センサーの種類 ・光線(反射) ・熱線 ・音波 ・光電 ・電波 ・押しボタン ・タッチ (・無線式 ・光電式) ・押しボタン ・ペダル ・車椅子使用者便房スイッチ (・大型(開・閉)) 押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止装置 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																												
			一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																					
13. 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.16)		・アンカーピン部分 Eポキシ樹脂注入工法	※16 ○4	※25 ・			(1 節 共通事項) <table><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・内部</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>既設木製建具撤去後新設</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> ・新規に建具の設置する場合 開口の開け方 ・図示 ・ () 補修方法 ・図示 ・ () 補修範囲 ・図示 ・ () ※建具表による 建具見本の製作 ※製作しない ・製作する(寸法 ※実物大) 特殊な建具の仮組 ※実施しない ・実施する(建具符号:) 防犯建物部品 ・建具表による ・適用しない (2 節 アルミニウム製建具) 外部に面する建具の性能等級 <table><tr><th>種別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込寸法(mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・A 種</td><td>S-4 (2000Pa)</td><td>A-3</td><td>W-4 (350Pa)</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・B 種</td><td>S-5 (2400Pa)</td><td>A-3</td><td>W-4 (350Pa)</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・C 種</td><td>S-6 (2800Pa)</td><td>A-4</td><td>W-5 (500Pa)</td><td></td><td>※図示</td></tr></table> ・防音ドア ・防音サッシ 遮音性能 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ・断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性能 ・H-1 (4.65W/(㎡・K) 以下) ・H-2 (4.07W/(㎡・K) 以下) ・H-3 (3.49W/(㎡・K) 以下) ・H-4 (2.91W/(㎡・K) 以下) ・H-5 (2.33W/(㎡・K) 以下) ・H-6 (1.90W/(㎡・K) 以下)	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考	・アルミニウム製建具	・	・		・鋼製建具	・外部	・			・内部	・		・鋼製軽量建具	・	・	既設木製建具撤去後新設	・ステンレス製建具	・	・		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込寸法(mm)	施工箇所	・A 種	S-4 (2000Pa)	A-3	W-4 (350Pa)	※70	・	・B 種	S-5 (2400Pa)	A-3	W-4 (350Pa)	※70	・	・C 種	S-6 (2800Pa)	A-4	W-5 (500Pa)		※図示	15. 形状及び仕上げ (5.4.4) (表5.4.2)	鋼板類の厚さ ※表5.4.2による ・図示 (注)片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は表5.4.2は適用しない。	16. 標準型鋼製建具 (5.4.6)	形式及び寸法 ・建具表による	(5 節 鋼製軽量建具) 簡易気密ドアセット ・適用する ・適用しない ・耐震ドア (面内変形追従性の等級:) ・防音ドアセット ・防音サッシ 遮音性能 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ・断熱ドアセット ・断熱サッシ 断熱性能 ・H-1 (4.65W/(㎡・K) 以下) ・H-2 (4.07W/(㎡・K) 以下) ・H-3 (3.49W/(㎡・K) 以下) ・H-4 (2.91W/(㎡・K) 以下) ・H-5 (2.33W/(㎡・K) 以下) ・H-6 (1.90W/(㎡・K) 以下)	18. 材料 (5.5.3)	鋼板類の種類 ・鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・ガル鋼板 ・ステン鋼板 召合せ、縦小口包み板 ※鋼板 ・ステン鋼板 ・7Mn16Mn合金押出型材	19. 形状及び仕上げ (5.5.4) (表5.5.1)	鋼板類の厚さ ※(表5.5.1)による ・図示 (注)片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は(表5.5.1)は適用しない。	20. 標準型鋼製建具 (5.5.6)	形式及び寸法 ・建具表による	(6 節 ステンレス製建具) ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1	21. 材料 (5.6.3)	表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・焼付塗装	22. 形状及び仕上げ (5.6.4)	曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	23. 工法 (5.6.5)	24. 材料 (5.7.2) (表5.7.1～4)	25. 形状及び仕上げ (5.7.3) (表5.7.5～6)	26. 工法 (5.7.4) (表5.7.8～11)	27. 材質、形状及び寸法 (5.8.2) (表5.8.1～5)	28. 取付け施工 (5.8.3)	29. 鍵 (5.8.4)	30. 性能、機構 (5.9.2) (表5.9.1～4)	(9 節 自動ドア開閉装置) 戸の開閉方式 ※図示 自動ドア開閉装置の性能値 ・表5.9.1引き戸用駆動装置の性能による (・防錆) ・表5.9.2車椅子使用者用便房出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能による (・防錆) ・表5.9.3引き戸用検出装置の性能による (・防錆)	31. 性能等 (5.10.3) (表5.10.1)	(10 節 自閉式上吊り引戸装置) ※(表5.10.1)による ・図示 ・ ()	(11 節 重量シャッター)	<table><tr><th>種類</th><th>開閉方式</th><th>耐風圧強度 (Pa)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・管理用シャッター (・シャッターケース付き)</td><td>※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</td><td>・500 ・800 ・1200</td><td></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター (※シャッターケース付き)</td><td>※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</td><td>・500 ・800 ・1200</td><td></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター (※シャッターケース付き)</td><td>※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・防煙シャッター (※シャッターケース付き)</td><td>※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置の設置箇所 ※図示 危険防止機構 ※障害物感知装置、かつ可動厚板式 ・ () シャッターケースの設置 ・設置する ・設置しない	種類	開閉方式	耐風圧強度 (Pa)	施工箇所	・管理用シャッター (・シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式	・500 ・800 ・1200		・外壁用防火シャッター (※シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式	・500 ・800 ・1200		・屋内用防火シャッター (※シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式			・防煙シャッター (※シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式			33. 材料 (5.11.3)	鋼板の種類 ※図示 ・ () めっき付着量 ※Z12又はF12 ・図示 ・ ()	(12 節 軽量シャッター) 開閉方式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 (Pa) ・500 ・650 ・800 安全装置の設置箇所 ※図示	34. 形式及び機構 (5.12.2) (表5.12.1)	35. 材料 (5.12.3)	スラットの材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯) : めっき付着量 ※Z06又はF06 ・図示 ・ () ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯) : めっき付着量 ※AZ90 ・図示 ・ ()	36. 形状及び仕上げ (5.12.4) (表5.12.2)	37. 形式及び機構 (5.13.2)	38. 材料 (5.13.3)	39. 材料 (5.14.2)	40. ガラスブロック 積み (5.14.5)	(13 節 オーバーヘッドドア) セクション材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ 風圧力区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式 ※バランスポイント式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 障害物感知装置 ・図示	ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板(めっき付着量 Z27) ・ステンレス鋼板 (SUS304)	(14 節 ガラス) ※板ガラスの種類、品種、厚さ等は図示による。 ガラス留め材(防火戸は建築基準法に基づく認定品) <table><tr><th>建具の種類</th><th>留め材</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ※ガスケット (FIX部はシーリング)</td></tr><tr><td>鋼製、鋼製軽量</td><td>※シーリング材 ・ガスケット</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材 ・ガスケット</td></tr></table> <table><tr><th>表面形状、色調</th><th>製品寸法</th><th>枠材質</th><th>化粧目地色</th><th>シーリング材</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※アルミニウム ・ステンレス</td><td></td><td>※SR-1</td></tr></table> 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (図示) ・設けない 化粧目地モルタルの色 () シーリング材の種類 () 金属製化粧カバーの材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 金属製化粧カバーの形状、寸法 ・図示 ※建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法とし、計算書及びその他性能表を監督員に提出すること	建具の種類	留め材	アルミニウム製	・シーリング材 ※ガスケット (FIX部はシーリング)	鋼製、鋼製軽量	※シーリング材 ・ガスケット	ステンレス製	※シーリング材 ・ガスケット	表面形状、色調	製品寸法	枠材質	化粧目地色	シーリング材			※アルミニウム ・ステンレス		※SR-1	41. 性能等 (5.10.3) (表5.10.1)	(15 節 重量シャッター)	(16 節 軽量シャッター)	(17 節 オーバーヘッドドア)	(18 節 セクション材料)	(19 節 風圧力区分)	(20 節 開閉方式)	(21 節 収納形式)	(22 節 障害物感知装置)	(23 節 ガイドレール)	(24 節 ガラス)	(25 節 ガラス留め材)	(26 節 壁用金属枠及び補強材)	(27 節 化粧目地モルタルの色)	(28 節 シーリング材の種類)	(29 節 金属製化粧カバーの材質)	(30 節 金属製化粧カバーの形状、寸法)	(31 節 計算書及びその他性能表)	(32 節 監督員に提出すること)
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考																																																																																																																																																								
・アルミニウム製建具	・	・																																																																																																																																																									
・鋼製建具	・外部	・																																																																																																																																																									
	・内部	・																																																																																																																																																									
・鋼製軽量建具	・	・	既設木製建具撤去後新設																																																																																																																																																								
・ステンレス製建具	・	・																																																																																																																																																									
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込寸法(mm)	施工箇所																																																																																																																																																						
・A 種	S-4 (2000Pa)	A-3	W-4 (350Pa)	※70	・																																																																																																																																																						
・B 種	S-5 (2400Pa)	A-3	W-4 (350Pa)	※70	・																																																																																																																																																						
・C 種	S-6 (2800Pa)	A-4	W-5 (500Pa)		※図示																																																																																																																																																						
種類	開閉方式	耐風圧強度 (Pa)	施工箇所																																																																																																																																																								
・管理用シャッター (・シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式	・500 ・800 ・1200																																																																																																																																																									
・外壁用防火シャッター (※シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式	・500 ・800 ・1200																																																																																																																																																									
・屋内用防火シャッター (※シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式																																																																																																																																																										
・防煙シャッター (※シャッターケース付き)	※上部電動式(手動併用) ・上部手動式																																																																																																																																																										
建具の種類	留め材																																																																																																																																																										
アルミニウム製	・シーリング材 ※ガスケット (FIX部はシーリング)																																																																																																																																																										
鋼製、鋼製軽量	※シーリング材 ・ガスケット																																																																																																																																																										
ステンレス製	※シーリング材 ・ガスケット																																																																																																																																																										
表面形状、色調	製品寸法	枠材質	化粧目地色	シーリング材																																																																																																																																																							
		※アルミニウム ・ステンレス		※SR-1																																																																																																																																																							

特記事項	設計事務所 〒839-0865 福岡県久留米市新合川2丁目4番7号 K&C建築設計内 TEL・FAX 09-42-43-6533	一般財団法人 久留米市開発公社	協同組合 久留米建築設計協会 〒839-0865 福岡県久留米市新合川2丁目4番7号 K&C建築設計内 TEL・FAX 09-42-43-6533	工事名 公社会館外壁改修工事	縮尺 NO SCALE	
	設計協力事務所(電気・機械) 保坂 賢吾 一級建築士 第 24383 号 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-60206 号	協同組合 久留米建築設計協会	図面名称 建築改修工事特記仕様書(3)	設計年月日 R07.11	図面番号 A-04	

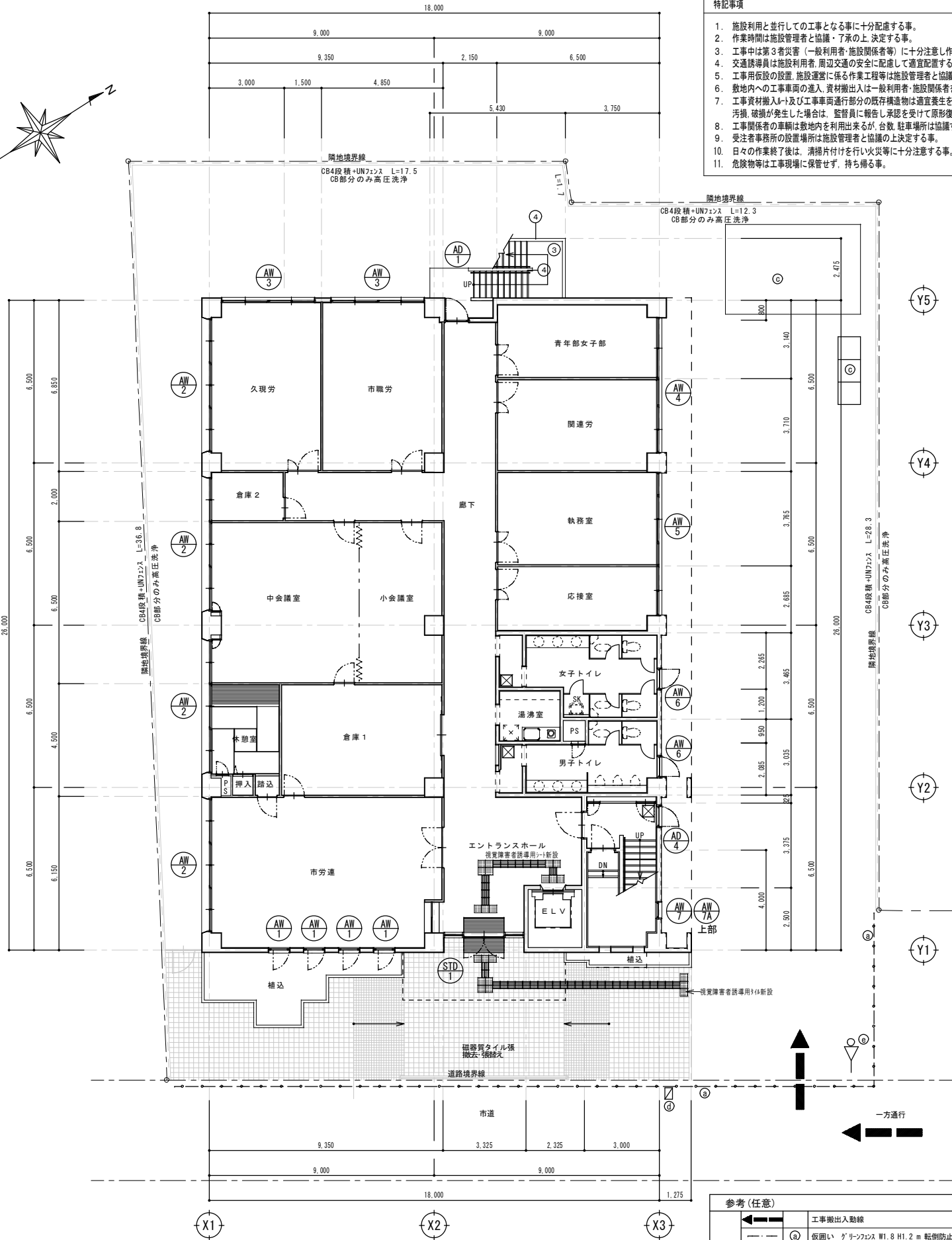
7 章 塗装改修工事					7 章 塗装改修工事（つづき）					9 章 環境配慮改修工事					9 章 環境配慮改修工事（つづき）																																																															
項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項			項 目		特 記 事 項																																																													
① 材料 (7.1.3)		（1節 共通事項） 塗料のホルムアルデヒド放散量は、特記なき限りF☆☆☆☆とする。 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上は防火材料 ・次の箇所を除き防火材料（箇所： ）			⑩ 耐候性塗料塗り (7.8.2～4) (表7.8.1～3)		（8節 耐候性塗料塗り（D P）） <table><tr><th>部位</th><th colspan="3">等級、種別</th></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>工程</td><td>・ A 種</td><td>○ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td></td><td>上塗り塗料</td><td>○ 1 級（ふっ素） ・ 2 級（シリコン） ・ 3 級（※リウレン）</td><td></td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>工程</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><td></td><td>上塗り塗料</td><td>・ 1 級（ふっ素） ・ 2 級（シリコン） ・ 3 級（※リウレン）</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート面及び</td><td>・ A-1 種（ふっ素） ・ A-2 種（ふっ素） ・ B-1 種（シリコン）</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>押出成形モルト板面</td><td>・ B-2 種（シリコン） ・ C-1 種（※リウレン） ・ C-2（※リウレン）</td><td colspan="2"></td></tr></table>			部位	等級、種別			鉄鋼面	工程	・ A 種	○ B 種 ・ C 種		上塗り塗料	○ 1 級（ふっ素） ・ 2 級（シリコン） ・ 3 級（※リウレン）		亜鉛めっき鋼面	工程	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種			上塗り塗料	・ 1 級（ふっ素） ・ 2 級（シリコン） ・ 3 級（※リウレン）		コンクリート面及び	・ A-1 種（ふっ素） ・ A-2 種（ふっ素） ・ B-1 種（シリコン）			押出成形モルト板面	・ B-2 種（シリコン） ・ C-1 種（※リウレン） ・ C-2（※リウレン）			① 一般事項 (9.1.1)		（1節 石綿含有建材の除去工事） 石綿粉じん濃度測定 ※行う ○行わない <table><tr><th>測定時期</th><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点</th></tr><tr><td>除去作業前</td><td>測定 1</td><td>除去作業室内</td><td>●各室共 50㎡以下 2点 50㎡～300㎡以下 3点</td></tr><tr><td></td><td>測定 2</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>計2点 大気</td></tr><tr><td>除去作業中</td><td>測定 3</td><td>除去作業室内</td><td>●に同じ</td></tr><tr><td></td><td>測定 4</td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>1点</td></tr><tr><td></td><td>測定 5</td><td>集塵・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）</td><td>1点</td></tr><tr><td></td><td>測定 6</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td></tr><tr><td>除去作業後 （シート養生中）</td><td>測定 7</td><td>除去作業室内</td><td>●に同じ</td></tr><tr><td></td><td>測定 8</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td></tr></table>			測定時期	測定名称	測定場所	測定点	除去作業前	測定 1	除去作業室内	●各室共 50㎡以下 2点 50㎡～300㎡以下 3点		測定 2	調査対象室外部の付近	計2点 大気	除去作業中	測定 3	除去作業室内	●に同じ		測定 4	セキュリティゾーン入口	1点		測定 5	集塵・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点		測定 6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	除去作業後 （シート養生中）	測定 7	除去作業室内	●に同じ		測定 8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点
										部位	等級、種別																																																																			
鉄鋼面	工程	・ A 種	○ B 種 ・ C 種																																																																											
	上塗り塗料	○ 1 級（ふっ素） ・ 2 級（シリコン） ・ 3 級（※リウレン）																																																																												
亜鉛めっき鋼面	工程	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種																																																																												
	上塗り塗料	・ 1 級（ふっ素） ・ 2 級（シリコン） ・ 3 級（※リウレン）																																																																												
コンクリート面及び	・ A-1 種（ふっ素） ・ A-2 種（ふっ素） ・ B-1 種（シリコン）																																																																													
押出成形モルト板面	・ B-2 種（シリコン） ・ C-1 種（※リウレン） ・ C-2（※リウレン）																																																																													
測定時期	測定名称	測定場所	測定点																																																																											
除去作業前	測定 1	除去作業室内	●各室共 50㎡以下 2点 50㎡～300㎡以下 3点																																																																											
	測定 2	調査対象室外部の付近	計2点 大気																																																																											
除去作業中	測定 3	除去作業室内	●に同じ																																																																											
	測定 4	セキュリティゾーン入口	1点																																																																											
	測定 5	集塵・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	1点																																																																											
	測定 6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																											
除去作業後 （シート養生中）	測定 7	除去作業室内	●に同じ																																																																											
	測定 8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																											
② 下地調整 (7.2.2～7) (表7.2.1～7)		（2節 下地調整） <table><tr><th rowspan="2">下地面の種類</th><th colspan="2">種別</th></tr><tr><th>塗替え</th><th>新規</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種</td><td>・ R A 種 ・ R B 種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種</td><td>※ R A 種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種</td><td>※ R A 種</td></tr><tr><td>モルタル面及びﾌﾗｽﾀｰ面</td><td>・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種</td><td>・ R A 種 ・ R B 種</td></tr><tr><td>コンクリート面及びALCパネル面</td><td>・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種</td><td>※ R A 種</td></tr><tr><td>コンクリート面及び押出成形モルト板面</td><td>・ R A 種 ・ R B 種 ・ R C 種</td><td>※ R A 種</td></tr><tr><td>せっこうﾎｰﾄﾞ面及びその他ﾎｰﾄﾞ面</td><td>・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種</td><td>・ R A 種 ・ R B 種</td></tr></table>			下地面の種類	種別		塗替え	新規	木部	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	・ R A 種 ・ R B 種	鉄鋼面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種	亜鉛めっき鋼面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種	モルタル面及びﾌﾗｽﾀｰ面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	・ R A 種 ・ R B 種	コンクリート面及びALCパネル面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種	コンクリート面及び押出成形モルト板面	・ R A 種 ・ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種	せっこうﾎｰﾄﾞ面及びその他ﾎｰﾄﾞ面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	・ R A 種 ・ R B 種	⑪ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (7.9.2～5) (表7.9.1～4)		2. 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)		石綿含有吹付け材の除去工事 ・行う（適用範囲 ※図示 ・ ） ・行わない 除去方法 ※粉塵飛散抑制剤等に湿潤化した後に除去すること。 ・図示 粉塵飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 ・（ ）																																											
						下地面の種類	種別																																																																							
塗替え	新規																																																																													
木部	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	・ R A 種 ・ R B 種																																																																												
鉄鋼面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種																																																																												
亜鉛めっき鋼面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種																																																																												
モルタル面及びﾌﾗｽﾀｰ面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	・ R A 種 ・ R B 種																																																																												
コンクリート面及びALCパネル面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種																																																																												
コンクリート面及び押出成形モルト板面	・ R A 種 ・ R B 種 ・ R C 種	※ R A 種																																																																												
せっこうﾎｰﾄﾞ面及びその他ﾎｰﾄﾞ面	・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種	・ R A 種 ・ R B 種																																																																												
3. 塗料種別 (7.3.2) (表7.3.1～2)		（3節 錆止め塗料塗り） 鉄鋼面錆止め塗料 <table><tr><th>種別</th><th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>種類</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>※ A 種</td><td>※ JIS K 5674</td><td>鉛・亜鉛ﾌﾘｰ-さび止めﾍﾞｲﾝﾄ</td><td>1 種</td><td>屋外、屋内</td></tr><tr><td>※ B 種</td><td>※ JASS 18 M-111</td><td>水系さび止めﾍﾞｲﾝﾄ</td><td>－</td><td>屋内、EP-G塗り</td></tr><tr><td></td><td>・ JIS K 5674</td><td>鉛・亜鉛ﾌﾘｰ-さび止めﾍﾞｲﾝﾄ</td><td>2 種</td><td>屋内、EP-G塗り</td></tr></table>			種別	規格番号	規格名称	種類	施工箇所	※ A 種	※ JIS K 5674	鉛・亜鉛ﾌﾘｰ-さび止めﾍﾞｲﾝﾄ	1 種	屋外、屋内	※ B 種	※ JASS 18 M-111	水系さび止めﾍﾞｲﾝﾄ	－	屋内、EP-G塗り		・ JIS K 5674	鉛・亜鉛ﾌﾘｰ-さび止めﾍﾞｲﾝﾄ	2 種	屋内、EP-G塗り	3. 石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)		石綿含有保温材の除去工事 ・行う（適用範囲 ※図示 ・ ） ・行わない 原形のまま手ばらしによる除去方法 ※粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※除去物については(9.1.3(2))により、密封処理とする。 切断または破砕による除去方法 ※行わない ・行う（9.1.3「石綿含有吹き付け材の除去」による） 養生等 ※養生シート等を用いて隔離養生（負圧養生）し、場外への飛散防止を行う。																																																			
					種別	規格番号	規格名称	種類	施工箇所																																																																					
※ A 種	※ JIS K 5674	鉛・亜鉛ﾌﾘｰ-さび止めﾍﾞｲﾝﾄ	1 種	屋外、屋内																																																																										
※ B 種	※ JASS 18 M-111	水系さび止めﾍﾞｲﾝﾄ	－	屋内、EP-G塗り																																																																										
	・ JIS K 5674	鉛・亜鉛ﾌﾘｰ-さび止めﾍﾞｲﾝﾄ	2 種	屋内、EP-G塗り																																																																										
4. 錆止め塗料塗り (7.3.3) (表7.3.3～4)		（4節 合成樹脂調合ペイント塗り（S O P）） ※1種（建築用） ・2種（大型鋼構造物用）			4. 石綿含有有形成板等の除去 (9.1.5)		石綿含有有形成板等の除去工事 ・行う（適用範囲 ※図示 ・ ） ・行わない 外部への飛散防止 ※作業場は、養生シート等を用いて区画する。 除去方法 ※作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※けい酸カルシウム板第一種は養生シート等を用いて隔離養生を行う																																																																							
										5. 塗料の種類 (7.4.2)		（14節 木材保護塗料塗り（W P）） ・ A 種 ※ B 種			5. 石綿含有仕上塗材の除去 (9.1.6)		石綿含有仕上塗材の除去工事 ・行う（適用範囲 ※図示 ・ ） ・行わない 除去工法 ・水洗い工法 ・手工具ケレン工法 ・集塵装置併用手工具ケレン工法 ・高圧水洗工法 ・剥離剤を用いる工法 ・電気グラインダー等の電動工具を使用する工法 ・（ ）																																																													
6. 合成樹脂調合ペイント塗り (7.4.3～5) (表7.4.1～3)		（5節 クリヤラッカー塗り（C L）） ・ A 種 ※ B 種			6. 石綿含有建材の処分 (9.1.3～6)		石綿含有吹付け材及び石綿含有保温材等 ・ 9.1.3(3) (I) (a) による埋立処分 ・ 9.1.3(3) (I) (b) による中間処理 石綿含有せっこうボード ・ 9.1.5(3) (I) (a) による埋立処分 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有有形成板 ・ 9.1.5(3) (I) (b) ①による埋立処分 ・ 9.1.5(3) (I) (b) ②による中間処理																																																																							
										7. クリヤラッカー塗り (7.5.2) (表7.5.1)		（6節 フタル酸樹脂エナメル塗り（F E）） ※表7.6.1～2による			7. 材料 (9.2.2)		（2節 外断熱改修工事） 外装材の種類 <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			種類	防火性能	厚さ（mm）																																																								
種類	防火性能	厚さ（mm）																																																																												
8. フタル酸樹脂エナメル塗り (7.6.2～3) (表7.6.1～2)		（7節 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（N A D）） ・ A 種 ※ B 種			12. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (7.10.2) (表7.10.1)		（10節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（E P）） <table><tr><th>内容</th><th>種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>塗替え</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><td>新規</td><td>・ A 種 ・ B 種</td><td></td></tr></table>			内容	種別	備考	塗替え	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種		新規	・ A 種 ・ B 種		13. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (7.11.2) (表7.11.1)		（11節 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（E P－T）） <table><tr><th>内容</th><th>種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>塗替え</td><td>・ A 種 ※ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><td>新規</td><td>・ A 種 ・ B 種</td><td></td></tr></table>			内容	種別	備考	塗替え	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種		新規	・ A 種 ・ B 種																																															
										内容	種別	備考																																																																		
塗替え	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																													
新規	・ A 種 ・ B 種																																																																													
内容	種別	備考																																																																												
塗替え	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種																																																																													
新規	・ A 種 ・ B 種																																																																													
9. フタル樹脂系非水分散形塗料塗り (7.7.2) (表7.7.1)					14. クリヤ樹脂ワニス塗り (7.12.2) (表7.12.1)		（12節 ウレタン樹脂ワニス塗り（U C）） ・ A 種 ※ B 種			15. オイルステイン塗り (7.13.2) (表7.13.1)		（13節 オイルステイン塗り（O S）） ※表7.13.1による																																																																		
															16. 木材保護塗料塗り (7.14.2) (表7.14.1)	17. 水性ｸﾘｱ塗料塗り（WUC）		（その他塗料塗り） 塗り回数 ※2回 ・3回 表面仕上 ※ｸﾘｱ ・半つや ・つやなし 着色 ※あり ・なし																																																												
一般財団法人 久留米市開発公社			設計事務所 〒330-0805 福岡県久留米市新合川2丁目4番7号 K&D建築設計内 TEL・FAX 0942-43-6533 設計協力事務所（電気・機械）			協同組合 久留米建築設計協会																																																																								
					協同組合 久留米建築設計協会					工事名 公社会館外壁改修工事					縮尺 NO SCALE																																																															
					協同組合 久留米建築設計協会					図面名称 建築改修工事特記仕様書(4)					設計年月日 R07.11		図面番号 A-05																																																													

工 事 概 要				特 記 事 項																																	
工 事 名 称		公社会館外壁改修工事		■ 外壁改修工事 下地について ・本建物は、吹付材下地調整材にに石綿を含有している（建材レベル3） 施工手順 全面水洗い（10～15Mpa）→マーキング→下地劣化部補修→下地調整（C-2）→塗装 ・アスベスト含有部位の施工に先立ち、試験施工を実施し、集じん装置付き工具の集じん性能を確認する 作業場所の総繊維濃度が0.15本/cm ³ （作業環境の石綿管理濃度）を下回ることを大気濃度測定により確認すること ■ 左官工事（吹付け工事） ・下地調整塗材はがわん系フィラー（C-2）とする ■ 防水改修工事 ・改修後の保証は10年以上とする ・下地面のケレン及び清掃は、高圧洗浄10～15Mpaとする ・下向きの削孔は、集塵機付ドリルで行うこと ■ タイル工事 ・タイル欠損部及びタイルひび割れ（0.2mm以上）→既存同等タイル張替え ・タイル浮き（0.5㎡以上）→ アンカビッチングエポキシ樹脂注入工法 ・中性洗剤による洗浄を行うこと 【外壁タイル剥落防止剤塗布】（タイルレックス インナーコート SG-3同等工法） <table><tr><th colspan="3">参考仕様</th></tr><tr><th>工程</th><th>工程</th><th>使用量</th></tr><tr><td>1</td><td>穿孔</td><td>—</td></tr><tr><td>2</td><td>タイルロッキングアンカーイレット</td><td>4本/㎡</td></tr><tr><td>3</td><td>EGプライマー</td><td>0.12kg/㎡</td></tr><tr><td>4</td><td>インナーコート SG</td><td>0.3kg/㎡</td></tr><tr><td>5</td><td>インナーコート SG</td><td>0.3kg/㎡</td></tr><tr><td>6</td><td>インナーコート SG</td><td>0.3kg/㎡</td></tr><tr><td>7</td><td>EGトップ SG</td><td>0.1kg/㎡</td></tr><tr><td>8</td><td>EGトップ SG</td><td>0.1kg/㎡</td></tr></table> ※ 施工前にアンカビッチングの引抜検査を行い、470N/本以上の引抜耐力を確認すること（試験方法はメーカー施工基準による） ・保証（10年） 保証内容：タイル剥落、塗布施工面の漏水 ■ 施工工程検査 下記内容について工程毎に監理者検査を実施すること ・劣化部マーキング検査及び劣化部補修完了検査 ・7Aベスト含有部位の施工環境測定（試験施工：総繊維濃度0.15本/m ³ ） ・タイル面のアンカビッチング引抜検査 ・外部足場解体前検査 ：アスベスト含有を示す（下地調整材に含有）				参考仕様			工程	工程	使用量	1	穿孔	—	2	タイルロッキングアンカーイレット	4本/㎡	3	EGプライマー	0.12kg/㎡	4	インナーコート SG	0.3kg/㎡	5	インナーコート SG	0.3kg/㎡	6	インナーコート SG	0.3kg/㎡	7	EGトップ SG	0.1kg/㎡	8	EGトップ SG	0.1kg/㎡
参考仕様																																					
工程	工程	使用量																																			
1	穿孔	—																																			
2	タイルロッキングアンカーイレット	4本/㎡																																			
3	EGプライマー	0.12kg/㎡																																			
4	インナーコート SG	0.3kg/㎡																																			
5	インナーコート SG	0.3kg/㎡																																			
6	インナーコート SG	0.3kg/㎡																																			
7	EGトップ SG	0.1kg/㎡																																			
8	EGトップ SG	0.1kg/㎡																																			
工 事 場 所		福岡県久留米市中央町																																			
工 事 概 要		外壁改修工事：外壁下地補修、タイル張補修、塗装塗替え 防水改修工事：バルコニー・屋外階段等塗膜防水、目地・建具廻りシーリング打替え その他改修： 縦樋撤去・更新、玄関庇・外部階段踊場裏塗装塗替え、屋外階段段鼻ノンスリップ取付 上記に伴う 電気設備工事・機械設備工事																																			
外 部 仕 上 表																																					
部 位	改 修 前		改 修 後	備 考																																	
玄関 庇 屋根	カラーステンレス t 0.35 瓦棒葺	既存ノママ	水洗い清掃（高圧洗浄10～15MPa）																																		
玄関 庇 鼻先	カラーアルミ PL1.0 加工	既存ノママ	ケレン及び下地調整の上DP塗装 目地シーリング打換 MS-2 W20																																		
玄関 庇 軒天	カラーアルミスバンドレル	既存ノママ	ケレン及び下地調整の上DP塗装																																		
外壁 ①	コンクリート下地 磁器タイル張（45二丁掛）	劣化部注入工法又はタイル張替	中性洗剤 洗浄 タイル剥落防止剤塗布																																		
外壁 ②	コンクリート打放シ下地 吹付タイル	下地劣化部補修	高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2下地調整の上 環境配慮型サステナブル高耐久性外壁用塗料仕上																																		
笠木 ③	コンクリート下地 磁器タイル張（45二丁掛）	劣化部注入工法又はタイル張替	中性洗剤 洗浄 タイル剥落防止剤塗布																																		
笠木 ④	モルタル金鍍仕上	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法																																		
面落ち壁 ⑤	コンクリート下地 磁器タイル張（45二丁掛）	劣化部注入工法又はタイル張替	中性洗剤 洗浄 タイル剥落防止剤塗布																																		
面落ち壁 ⑥	コンクリート打放シ下地 吹付タイル	下地劣化部補修	高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2下地調整の上 環境配慮型サステナブル高耐久性外壁用塗料仕上																																		
外部メンテ通路 軒天	コンクリート打放シ下地 リシン吹付	下地劣化部補修	高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2下地調整の上 外装薄塗材E（砂壁状）吹付																																		
2階メンテ通路 床	防水モルタル金鍍仕上	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法																																		
2階メンテ通路 軒天	コンクリート打放シ下地 リシン吹付	下地劣化部補修	高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2仕上 外装薄塗材E（砂壁状）吹付																																		
3階バルコニー 3階メンテ通路 床	防水モルタル金鍍仕上	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法 防滑仕上 ウレタン塗膜防水 X-2工法（メンテ通路）																																		
3階バルコニー 3階メンテ通路 軒天	コンクリート打放シ下地 リシン吹付	下地劣化部補修	高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2仕上 外装薄塗材E（砂壁状）吹付																																		
3階バルコニー手摺 笠木	モルタル金鍍仕上	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法																																		
屋外階段 床	防水モルタル金鍍仕上 段鼻：磁器質タイル	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法 防滑仕上																																		
屋外階段 手摺壁（内・外部）	コンクリート打放シ下地 吹付タイル	下地劣化部補修	高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2仕上 環境配慮型サステナブル高耐久性外壁用塗料仕上																																		
屋外階段 手摺笠木	モルタル金鍍仕上	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法																																		
屋外階段 手摺	ステンレス製 40φ HL	既存ノママ	清掃																																		
縦樋	カラーVP100φ・50φ ステンレス受け金物	撤去	カラーVP100φ ステンレス受け金物 カラーVP50φ ステンレス受け金物	更新																																	
縦樋（玄関）	ステンレス製 60X30HL ステンレス受け金物	既存ノママ	清掃																																		
換気フード	ステンレス製 曲げ加工 W2000XD600XH450	既存ノママ	— 周囲シーリング打替 PS-2 W15																																		
丸型ベンドキャップ	アルミ製 100φ、150φ、200φ	撤去	ステンレス製 100φ、150φ、200φ 周囲シーリングMS-2W10	更新																																	
打継目地	PS-2 W20	撤去	PS-2 W20	更新																																	
化粧目地	PS-2 W20	撤去	PS-2 W20	更新																																	
特記事項		一般財団法人 久留米市開発公社		設計事務所（建築） 〒829-0855 福岡県久留米市新会川2丁目4番7号 K&Z建築設計内 TEL&FAX：0942-43-6532	設計 久留米建築設計協会 一般建築士事務所 保坂 賢吾 一般建築士 第 24393号 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-00206号	担当（建築） 木村 昭文 一般建築士 第 341265号	工事名称 公社会館外壁改修工事		設計年月日 R7.11																												
		協同組合 久留米建築設計協会		設計協力事務所（電気・機械）		担当（電気） 本村 和也 一般建築士 第 243939号	図面名称 付近見取図・工事概要・外部改修仕上表		縮尺 A1---NO SCALE A3---NO SCALE	図面番号 A-06																											



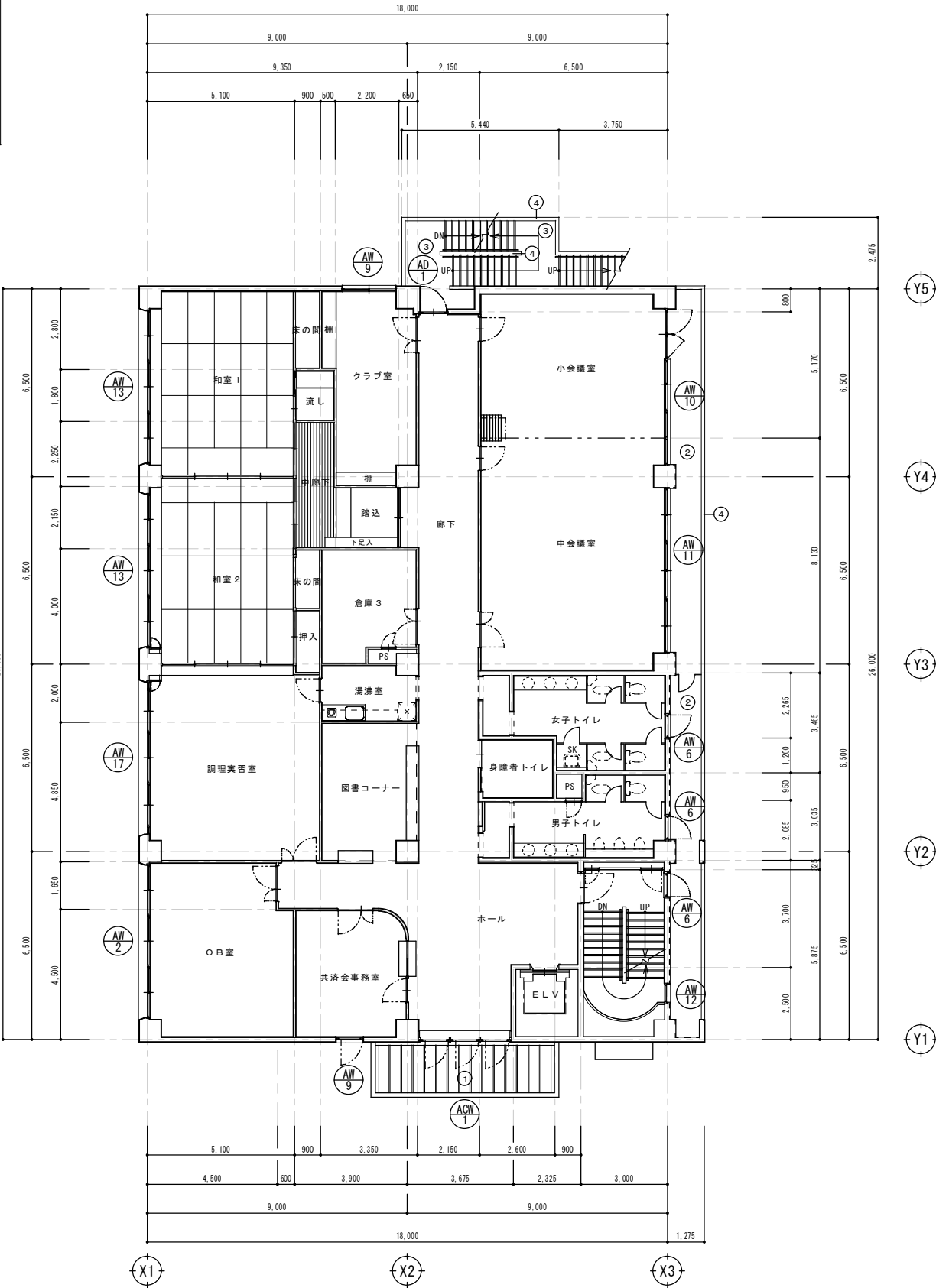


- 特記事項
1. 施設利用と並行しての工事となる事に十分配慮する事。
 2. 作業時間は施設管理者と協議・了承の上、決定する事。
 3. 工事中は第3者災害（一般利用者・施設関係者等）に十分注意し作業を行う事。
 4. 交通誘導員は施設利用者、周辺交通の安全に配慮して適宜配置する事。
 5. 工事用仮設の設置、施設運営に係る作業工程等は施設管理者と協議・了承のうえ決定する事。
 6. 敷地内への工事車両の進入、資材搬入は一般利用者・施設関係者を優先し適宜安全対策を講じる事。
 7. 工事資材搬入・及び工事車両通行部分の既存構造物は適宜養生を行う事。
 8. 汚損、破損が発生した場合は、監督員に報告し承認を受けて原形復旧する事。
 9. 工事関係者の車両は敷地内を利用出来るが、台数、駐車場所は協議する事。
 10. 受注者事務所設置場所は施設管理者と協議の上決定する事。
 11. 日々の作業終了後は、清掃片付けを行い火災等に十分注意する事。
 12. 危険物等は工事現場に保管せず、持ち帰る事。



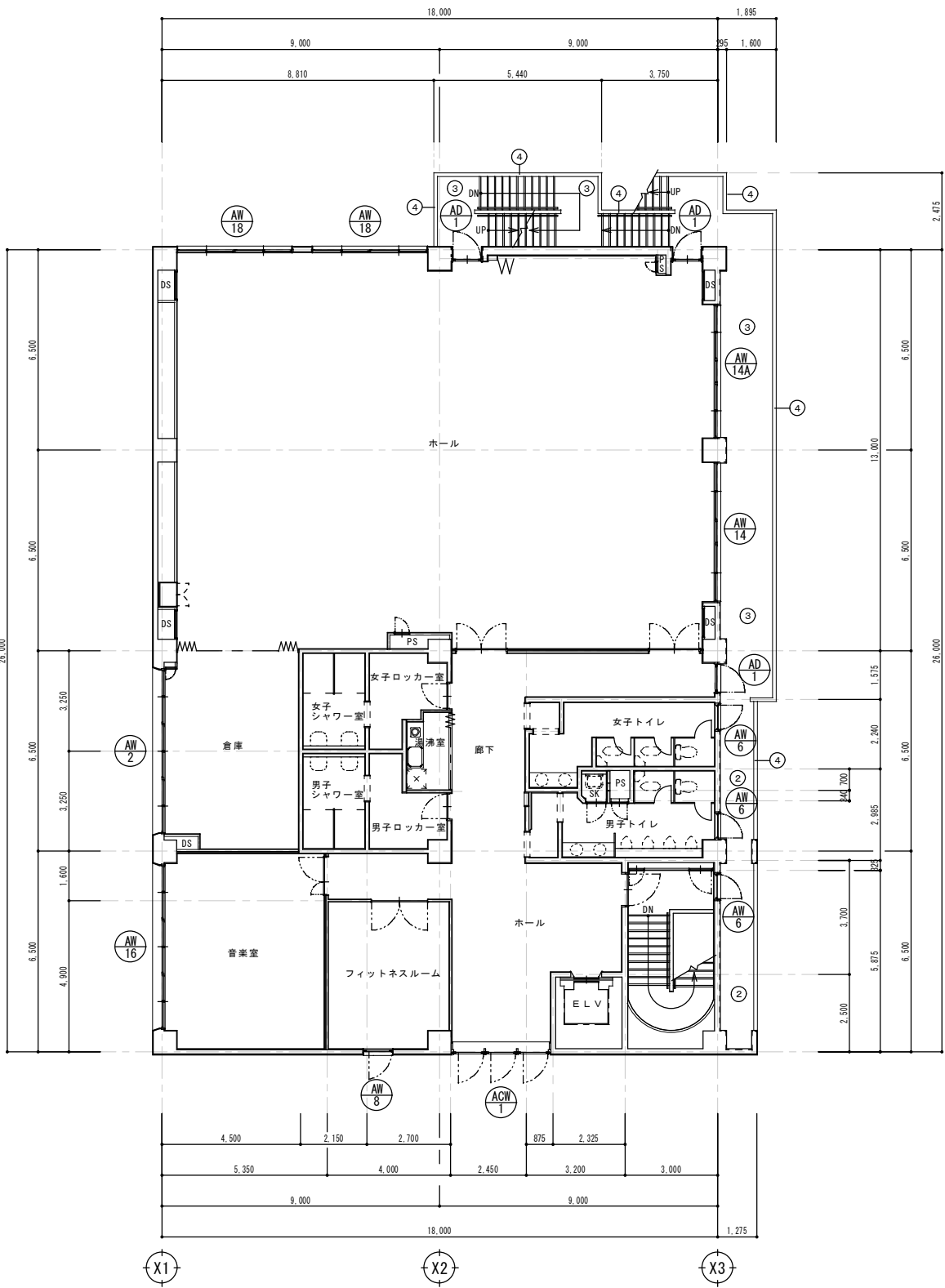
配置図兼 1 階平面図 S=1/100

参考 (任意)			
凡例	①	工事搬出入動線	外部足場
	②	仮囲い グリーンハウス W1.8 H1.2 m 転倒防止共	手摺先行くさび繫結足場
	③	受注者事務所・作業員休憩所	足場枠900
	④	仮設便所 エント 大便器1,小便器1,手洗い	安全手摺
	⑤	工事用表示板 1,100×1,400程度	養生シート
	⑥	工事用表示板 1,100×1,400程度 (7A×1用)	メッシュシート (防炎B類)

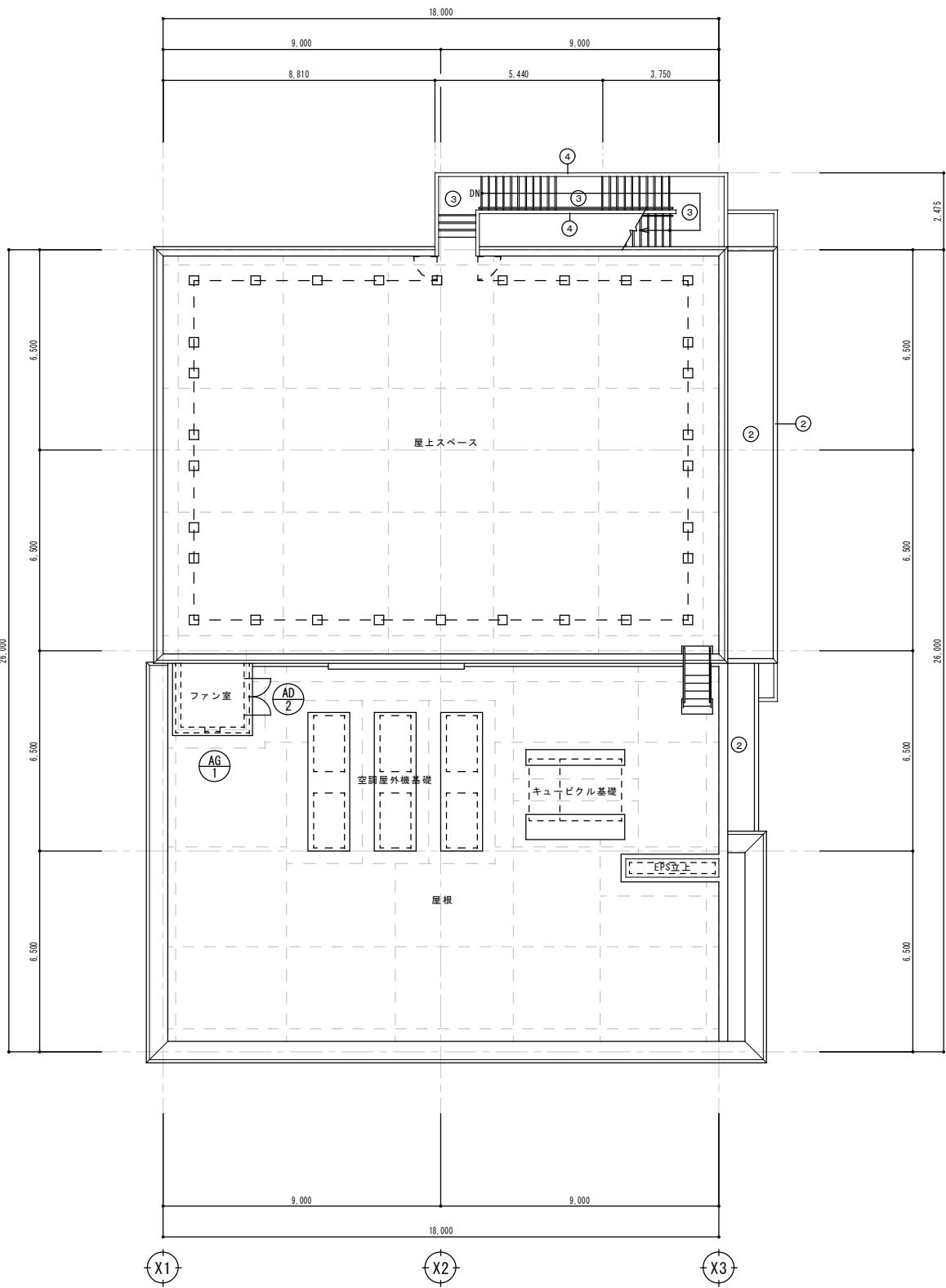


2 階 平面図 S=1/100

記号	改 修 前	改 修 後
①	カラスステンレス t 0.35 瓦棒葺	既存ノママ 水洗い清掃 高圧洗浄 (10~15MPa)
②	防水モルタル金網仕上	下地劣化部補修 高圧洗浄及び下地調整の上 クレタ塗膜防水 X-2工法
③	防水モルタル金網仕上	下地劣化部補修 高圧洗浄及び下地調整の上 クレタ塗膜防水 X-2工法 防滑仕上
④	モルタル金網仕上	下地劣化部補修 高圧洗浄及び下地調整の上 クレタ塗膜防水 X-2工法



3 階 平面図 S=1/100



R 階 平面図 S=1/100

建具記号	建具サイズ	数量	建具記号	建具サイズ	数量	建具記号	建具サイズ	数量
ACW-1	3.140 X 8.100	1	AW-1	0.800 X 1.600	4	AW-11	5.640 X 2.410	1
STD-1	3.140 X 2.560	1	AW-2	5.240 X 1.600	6	AW-12	0.600 X 1.100	1
			AW-3	3.670 X 1.600	2	AW-13	5.240 X 1.820	2
AD-1	0.900 X 2.560	5	AW-4	5.340 X 1.600	1	AW-14	4.440 X 2.560	1
AD-2	1.200 X 0.800	1	AW-5	5.640 X 1.600	1			
			AW-6	0.800 X 2.210	8	AW-16	5.240 X 1.600	1
AD-4	0.900 X 2.000	1	AW-7	0.600 X 0.860	1	AW-17	5.240 X 1.600	1
			AW-7A	0.600 X 0.600	1	AW-18	3.670 X 1.600	2
AG-1	0.600 X 0.800	1	AW-8	0.900 X 0.900	2	AW-14A	4.240 X 2.560	1
			AW-9	1.800 X 1.500	1			
			AW-10	5.340 X 2.410	1			

※窓廻りシーリング打替え PS-2 W15

記号	改 修 前	改 修 後
①	カラスステンレス t 0.35 瓦棒葺	既存ノママ 水洗い清掃 高圧洗浄 (10~15MPa)
②	防水モルタル金網仕上	下地劣化部補修 高圧洗浄及び下地調整の上 ｸﾘﾝｼﾝｸﾞ塗膜防水 X-2工法
③	防水モルタル金網仕上	下地劣化部補修 高圧洗浄及び下地調整の上 ｸﾘﾝｼﾝｸﾞ塗膜防水 X-2工法 防滑仕上
④	モルタル金網仕上	下地劣化部補修 高圧洗浄及び下地調整の上 ｸﾘﾝｼﾝｸﾞ塗膜防水 X-2工法

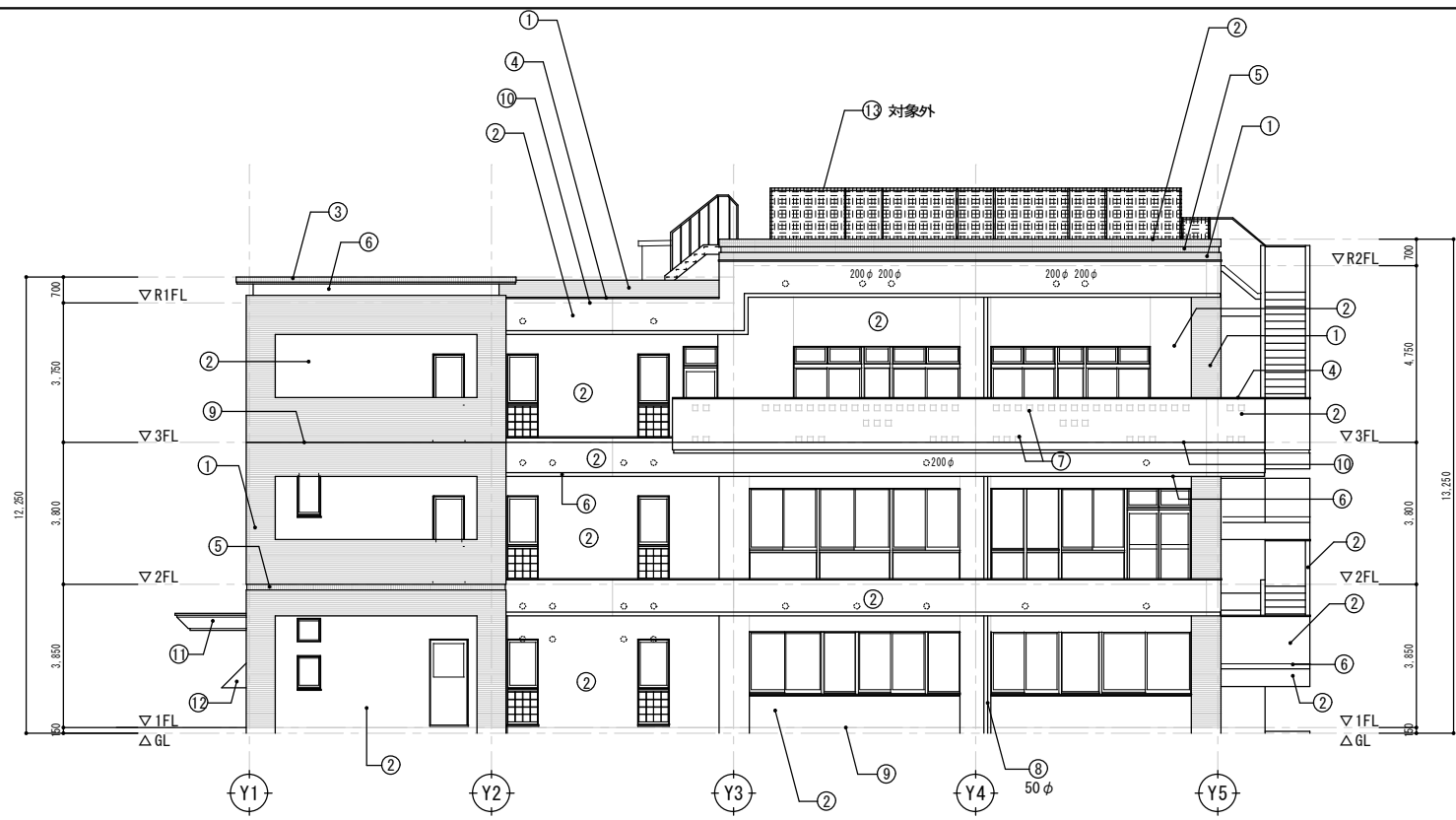
特記事項

一般財団法人 久留米市開発公社
協同組合 久留米建築設計協会

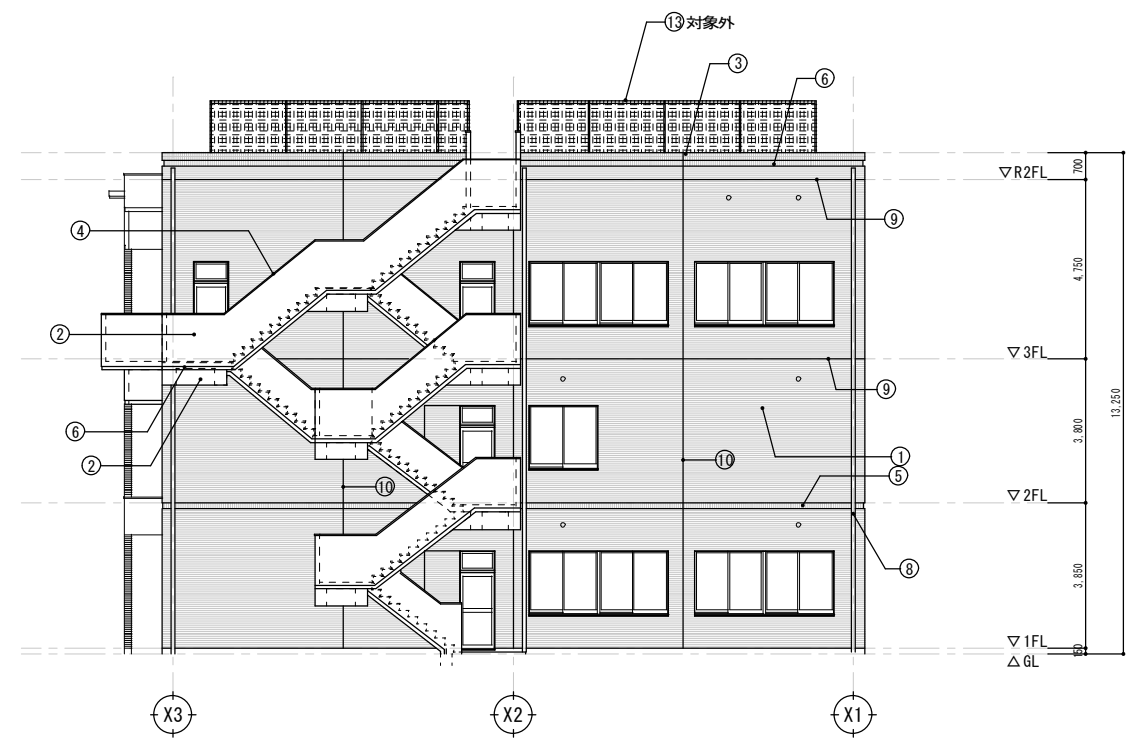
設計事務所 (建築) 〒829-0852 福岡県久留米市新合川2丁目4番7号 K&Z建築設計内 TEL&FAX: 0942-43-6532 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-00206号	設計事務所 (建築) 久留米建築設計協会 一般建築士事務所 保坂 賢吾 一般建築士 第 24393号 福岡県知事登録 第 1-00206号
設計協力事務所 (電気・機械) 合同会社 高松企画設備設計	

担当 (建築) 木村 昭文 一般建築士 第 341265号	担当 (建築) 本村 和也 一般建築士 第 24393号
-------------------------------------	------------------------------------

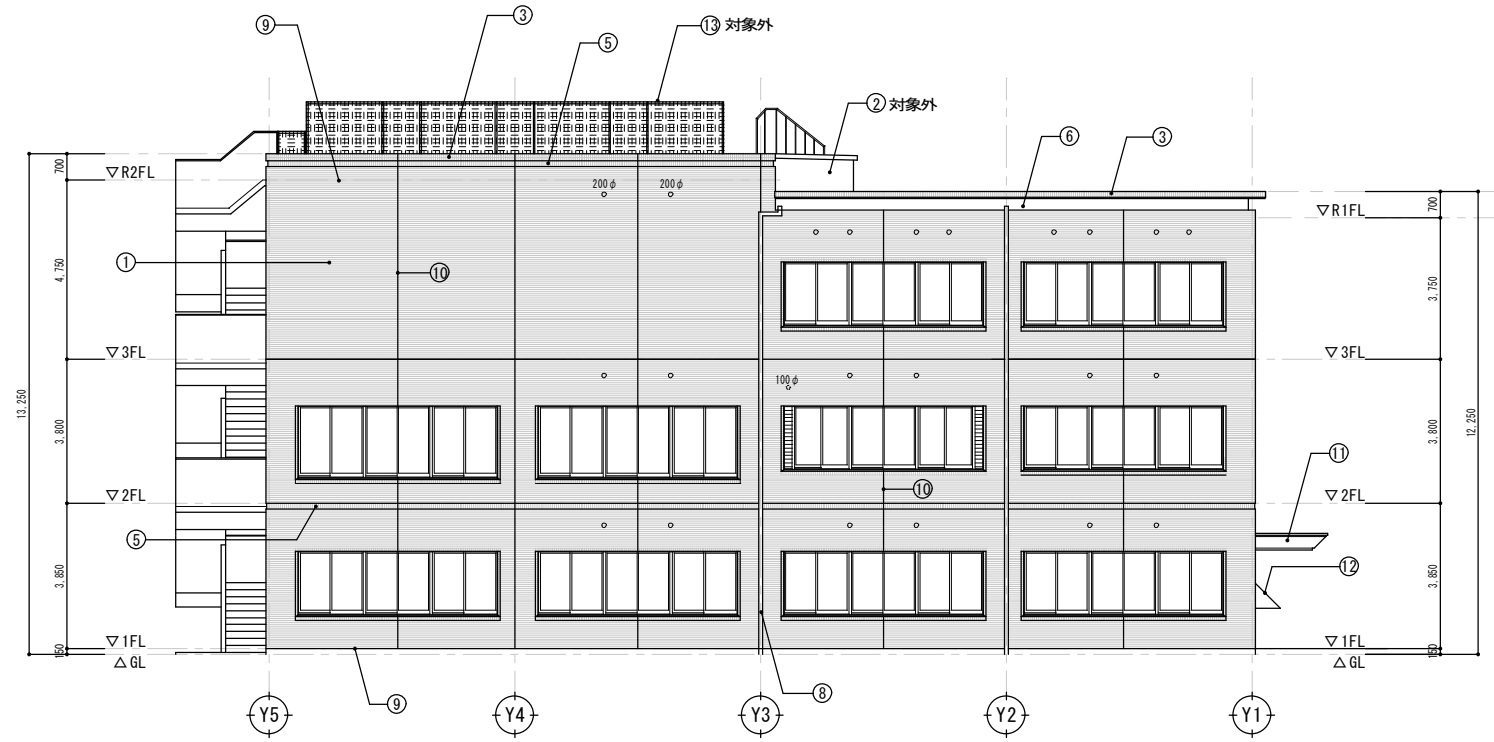
工事名称 公社会館外壁改修工事	設計年月日 R7.11
図面名称 3階・R階 平面図	図面番号 A-08
縮尺 A1---1/100 A3---1/200	



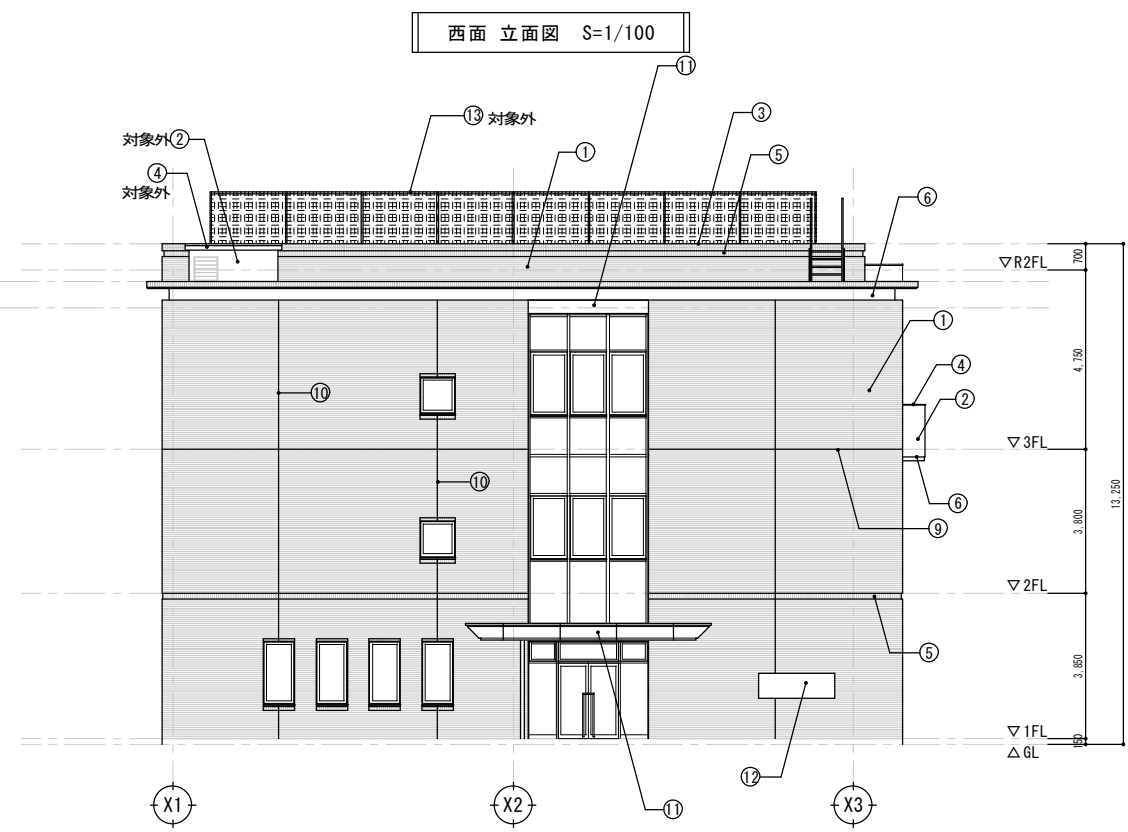
北面 立面図 S=1/100



西面 立面図 S=1/100



南面 立面図 S=1/100



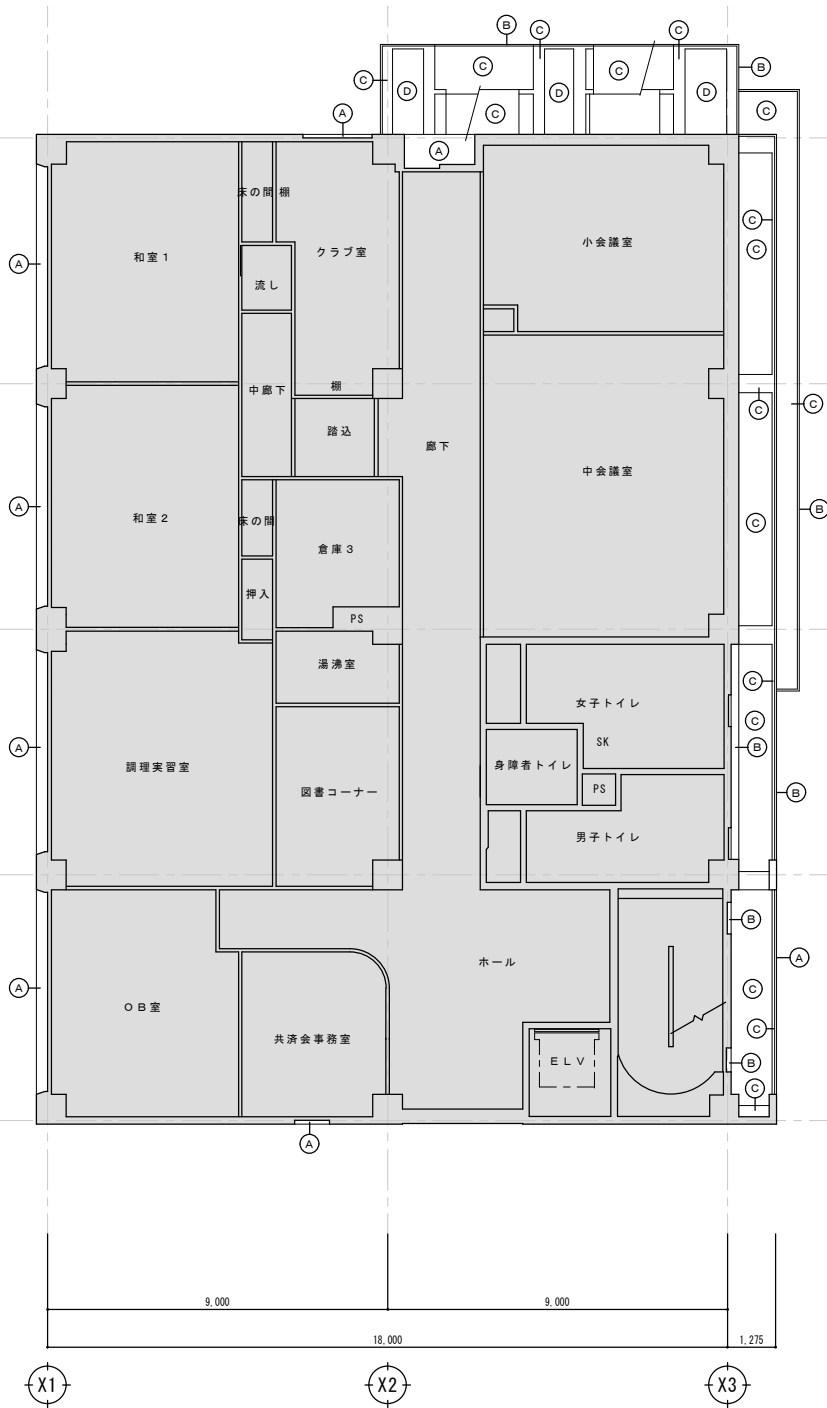
東面 立面図 S=1/100

改 修 前				改 修 後			
①	磁器タイル張 (二丁掛)	下地劣化部補修	中性洗剤 洗浄 タイル剥落防止剤塗布	⑩	化粧目地	撤去	PS-2 W20 打替え
②	打放シの上吹付タイル	下地劣化部補修	高圧洗浄及び材料フィルターC-2下地調整の上 環境配慮型サステナブル高耐久性外壁用塗料仕上	⑪	カラーアルミ	既設のママ	ケレン及び下地調整の上DP塗装 目地シーリング打換 MS-2 W20
③	笠木：タイル張	下地劣化部補修	中性洗剤 洗浄 タイル剥落防止剤塗布	⑫	換気フード：ステンレス製 曲げ加工 W2000XD600XH450	既設のママ	換気フード：ステンレス製 曲げ加工
④	笠木：モルタル仕上	下地劣化部補修	高圧洗浄及び下地調整の上 ウレタン塗膜防水 X-2工法	⑬	スチールフェンス H=2.000	既設のママ	
⑤	面落ち壁：タイル張	下地劣化部補修	中性洗剤 洗浄 タイル剥落防止剤塗布	。	バンドキャップ (特記以外は150φ)	撤去	バンドキャップ (特記以外は150φ) 周囲シーリングMS-2 W110
⑥	面落ち壁：吹付タイル	下地劣化部補修	高圧洗浄及び材料フィルターC-2下地調整の上 環境配慮型サステナブル高耐久性外壁用塗料仕上				更新
⑦	開口を示す。						
⑧	縦樋：カラーVP100φ・50φ	撤去	カラーVP100φ・50φ ステンレス受け金物				
⑨	打継目地	撤去	PS-2 W20 打替				

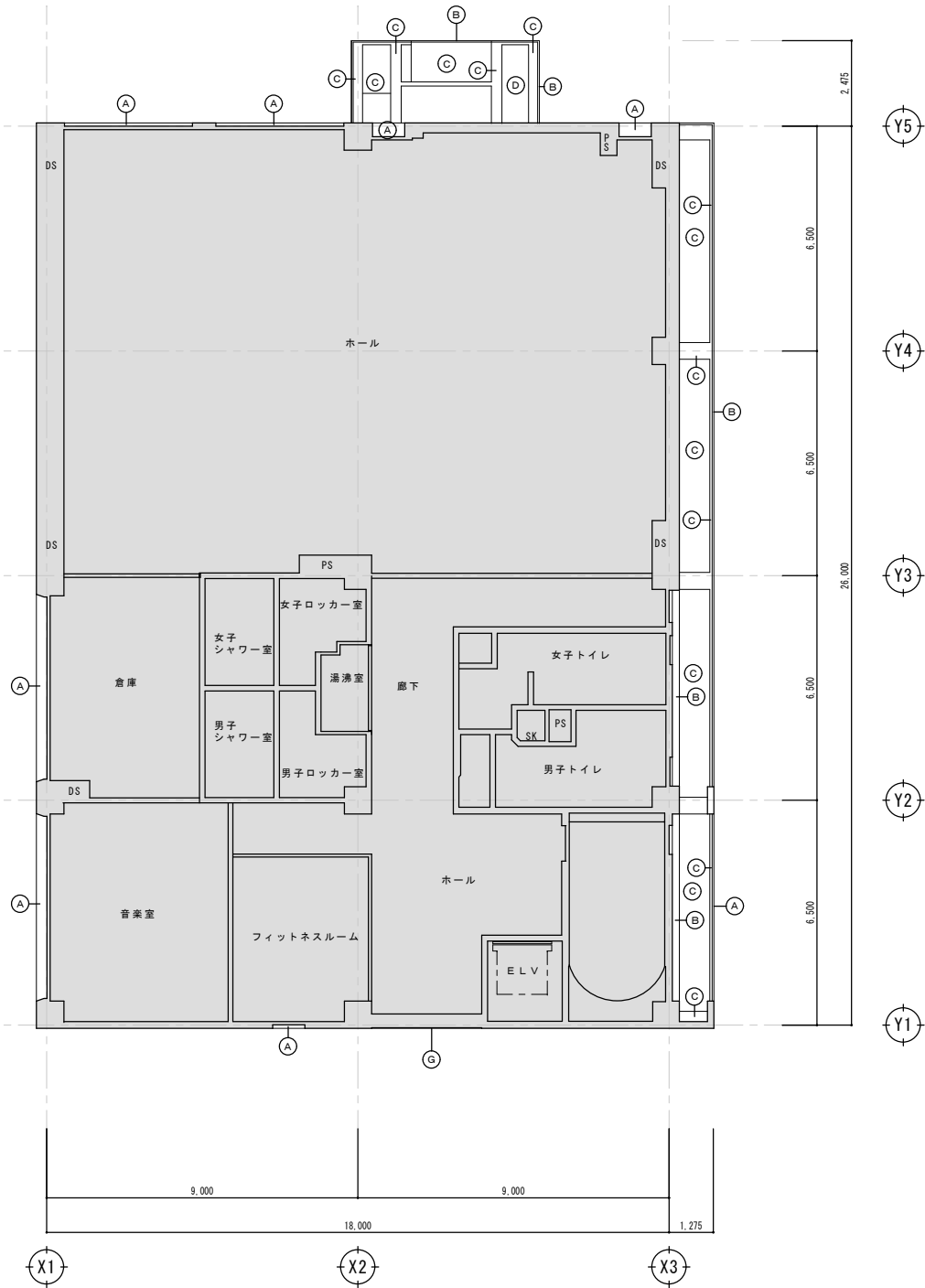
記号				数量	形式	寸法		見込厚	仕上	附 属 金 物																使用場所	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
AW	1	A	4	5.24	5.24	800	1,600	70	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



1階 天井伏図 S=1/100

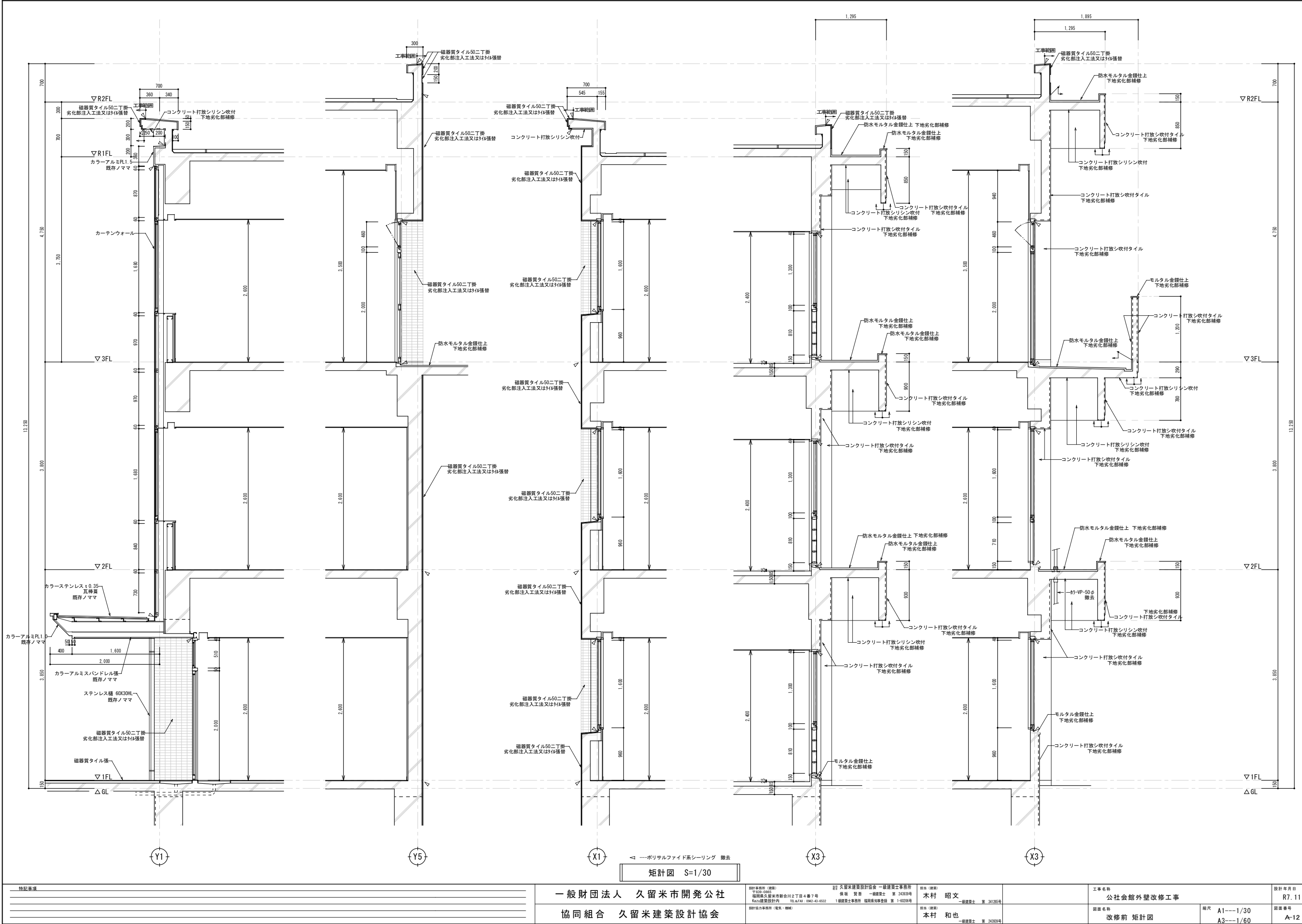


2階 天井伏図 S=1/100



3階 天井伏図 S=1/100

記号	改 修 前	改 修 後
(A)	コンクリート下地磁器質タイル張 (45二丁掛)	劣化部注入工法又はタイル張替 中性洗剤 洗浄
(B)	コンクリート打放シ吹付タイル	下地劣化部補修 高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2下地調整の上 環境配慮型サステナブル高耐久性外壁用塗料仕上
(C)	コンクリート打放シシリシ吹付	下地劣化部補修 高圧洗浄及びカチオンフィラーC-2下地調整の上 外装薄塗材E (砂壁状) 吹付
(D)	ケイカル板 t 6.0V P 塗装	下地劣化部補修 下地調整 (RB種) の上 E P-G 塗装
(E)	カラーアルミ板 PL1.0 曲げ加工	既存ノママ ケレン及び下地調整の上 D P 塗装 目地シーリング打換 MS-2
(F)	カラーアルミスバンドレル	既存ノママ ケレン及び下地調整の上 D P 塗装
(G)	カラーアルミ PL1.5 曲げ加工	既存ノママ ケレン及び下地調整の上 D P 塗装 目地シーリング打換 MS-2



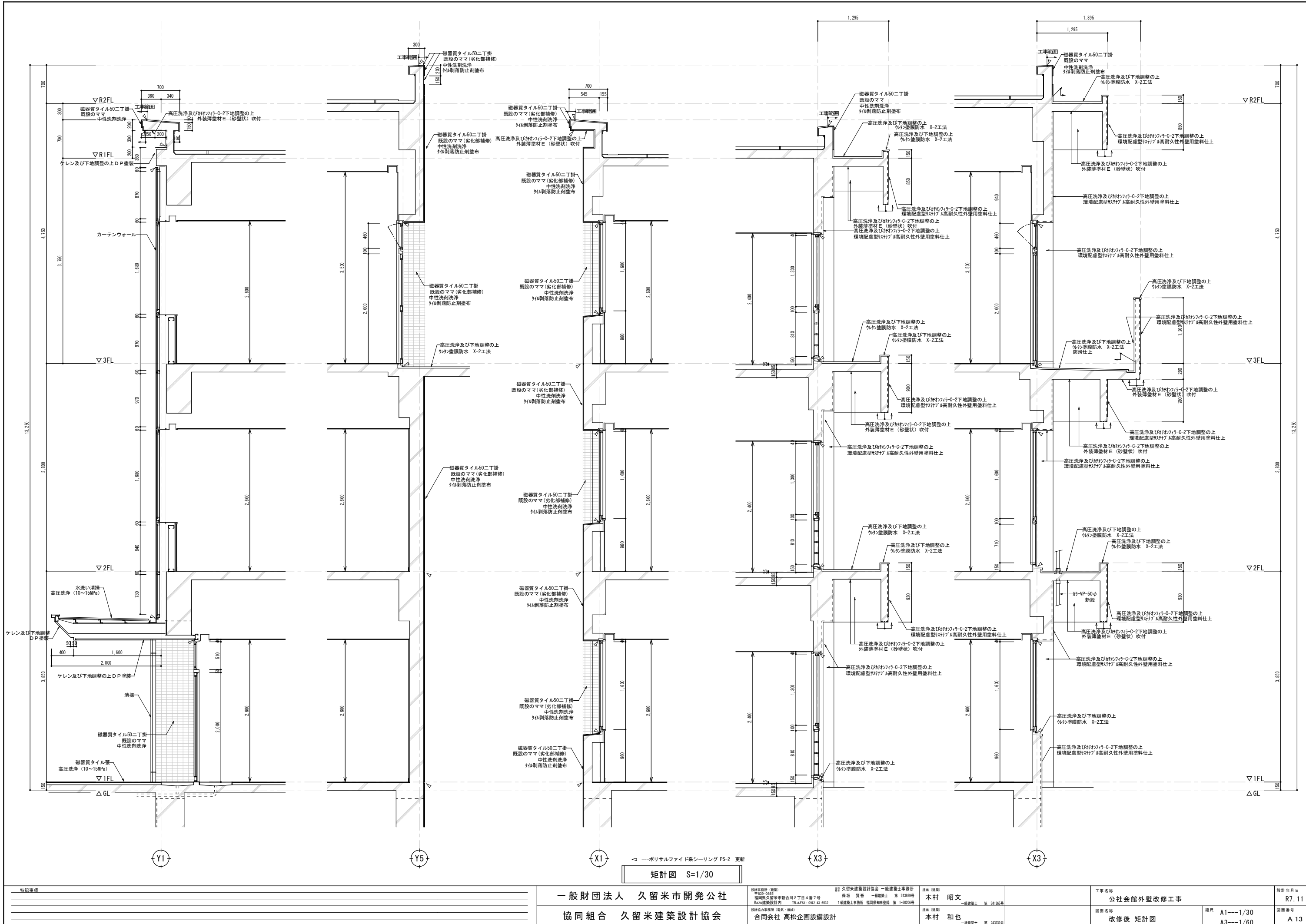
特記事項

一般財団法人 久留米市開発公社
協同組合 久留米建築設計協会

設計事務所 (建築) 〒829-0852 久留米市新会川2丁目4番7号 K&Z建築設計内 TEL.&FAX: 0942-43-6532	設計協力事務所 (電気・機械) 久留米建築設計協会 一般建築士事務所 保坂 賢吾 一般建築士 第 24393号 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-00206号
---	--

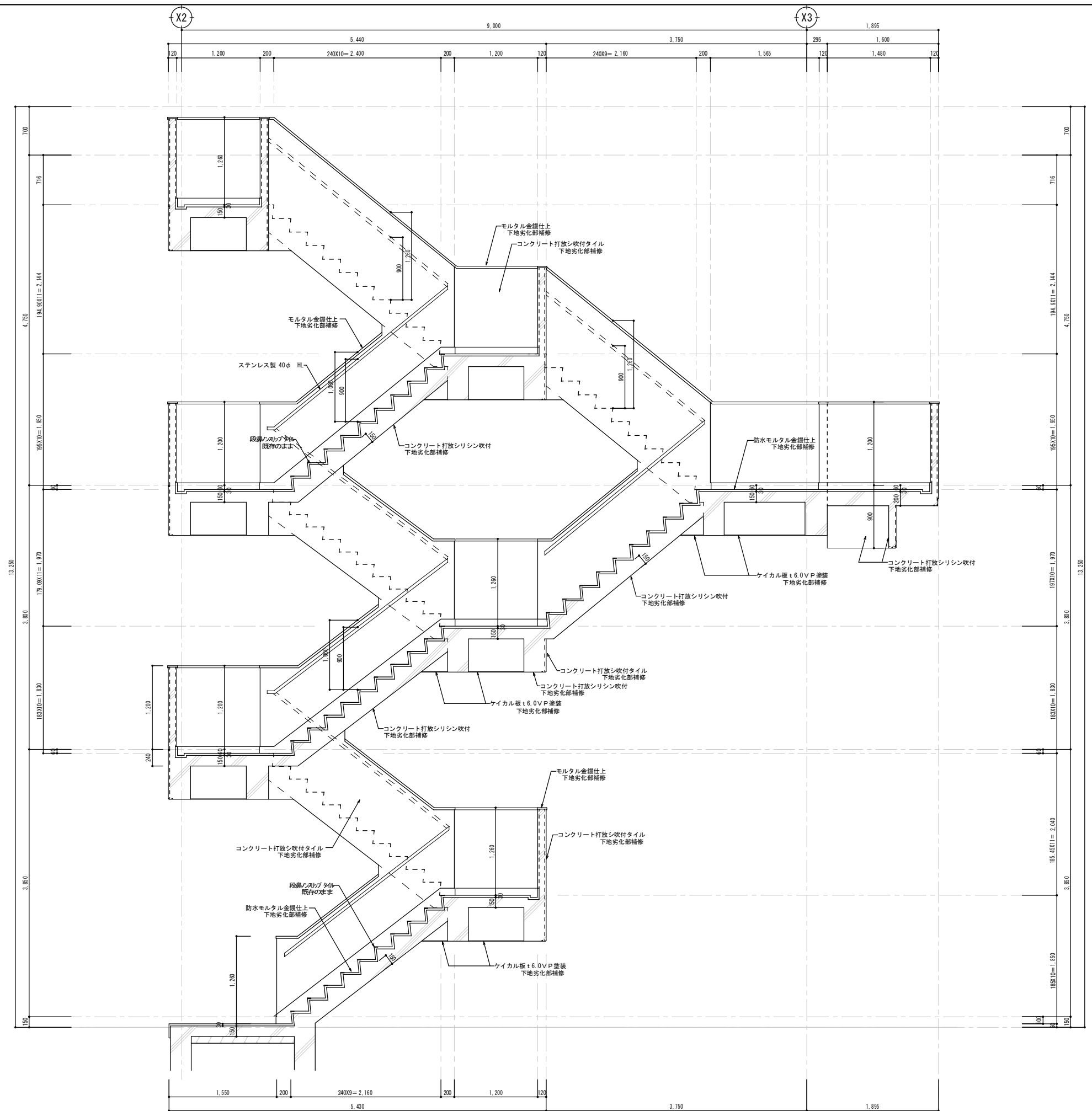
担当 (建築) 木村 昭文 一般建築士 第 341265号	担当 (建築) 本村 和也 一般建築士 第 24393号
-------------------------------------	------------------------------------

工事名称 公社会館外壁改修工事	図面名称 改修前 矩計図	縮尺 A1---1/30 A3---1/60	設計年月日 R7.11	図面番号 A-12
--------------------	-----------------	------------------------------	----------------	--------------



≪ 一般財団法人 久留米市開発公社
矩計図 S=1/30

特記事項	一般財団法人 久留米市開発公社		設計事務所 (建築) 久留米建築設計協会 一般建築士事務所 〒839-0860 福岡県久留米市新会館2丁目4番7号 代表 賢者 一般建築士 第 24393号 K&Z建築設計内 TEL.&FAX: 0942-43-6532 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-00206号	図主 (建築) 木村 昭文 一般建築士 第 341265号	工事名称 公社会館外壁改修工事	設計年月日 R7.11
	協同組合 久留米建築設計協会		設計協力事務所 (電気・機械) 合同会社 高松企画設備設計	図主 (建築) 本村 和也 一般建築士 第 24393号	図面名称 改修後 矩計図	図面番号 A-13
					縮尺 A1---1/30 A3---1/60	

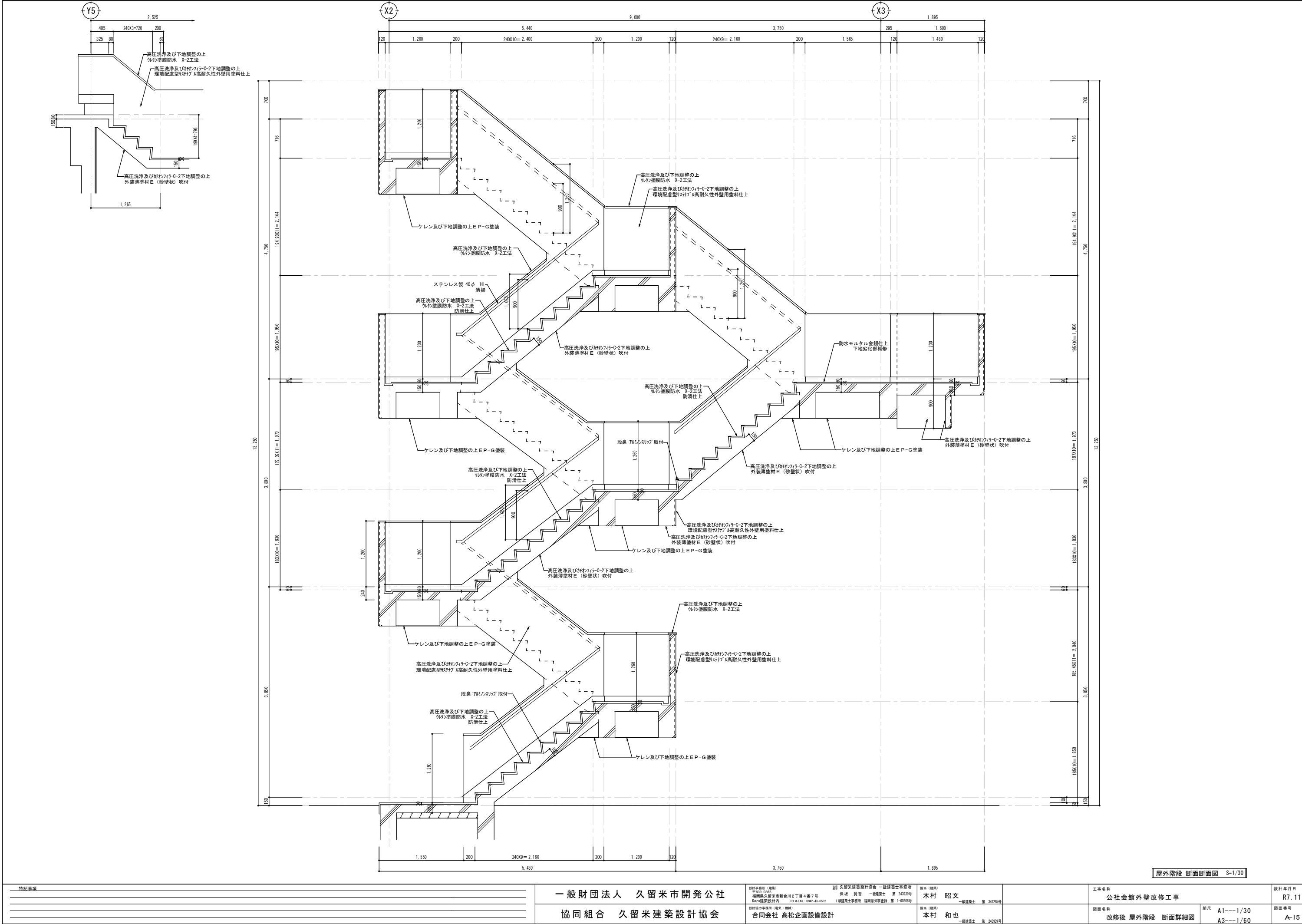
[illegible]

設計事務所（建築） 〒632-0046 福岡県久留米市新会川2丁目4番7号 Kazu建築設計内 TEL&FAX: 0942-43-6532	 久留米建築設計協会 一級建築士事務所 保坂 賢吾 一級建築士 第 243939号 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-60206号
設計協力事務所（電気・機械）	

工事名称	公社会館外壁改修工事
図面名称	改修前 屋外階段 断面詳細図

縮尺 A1---1/30
A3---1/60

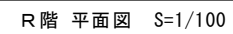
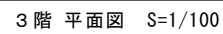
設計年月日	R7. 11
図面番号	A - 14

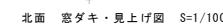
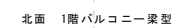
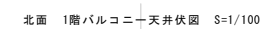
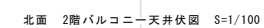
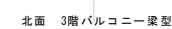
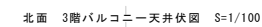
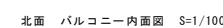
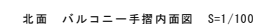
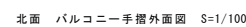


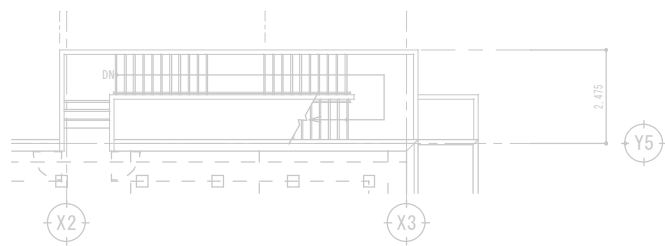
屋外階段 断面断面図 S=1/30

特記事項	一般財団法人 久留米市開発公社		設計事務所 (建築) 久留米建築設計協会 一般建築士事務所 〒830-0850 福岡県久留米市新合川2丁目4番7号 代表 賀若 一樹建築士 第 24303号 Kazuki建築設計内 TEL&FAX: 0942-43-6532 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-00206号		担当 (建築) 木村 昭文 一般建築士 第 341265号		工事名称 公会館外壁改修工事		設計年月日 R7.11	
	協同組合 久留米建築設計協会		設計協力事務所 (電気・機械) 合同会社 高松企画設備設計		担当 (建築) 本村 和也 一般建築士 第 24303号		図面名称 改修後 屋外階段 断面詳細図		縮尺 A1---1/30 A3---1/60	

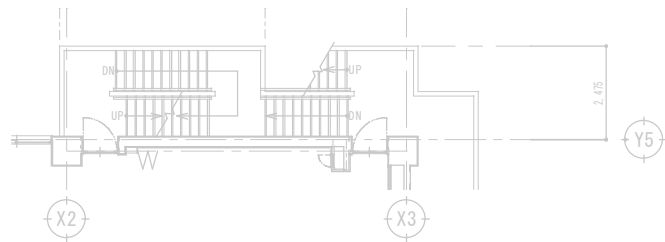
[illegible]

[illegible]

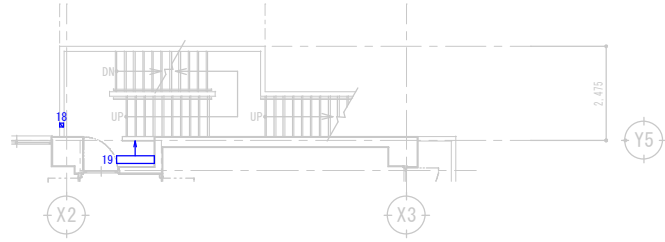
[illegible]



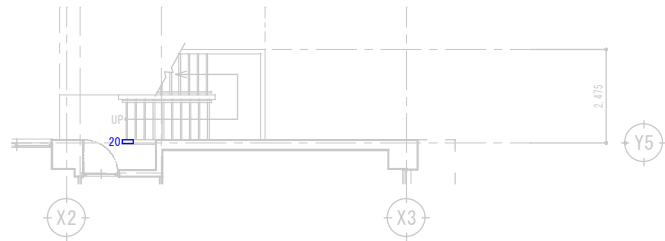
屋外階段 R階平面図 S=1/100



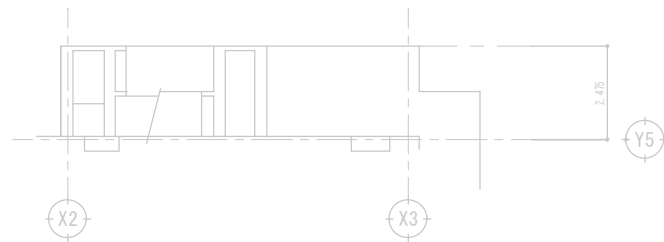
屋外階段 3階平面図 S=1/100



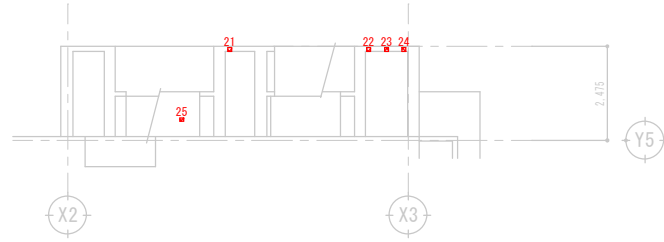
屋外階段 2階平面図 S=1/100



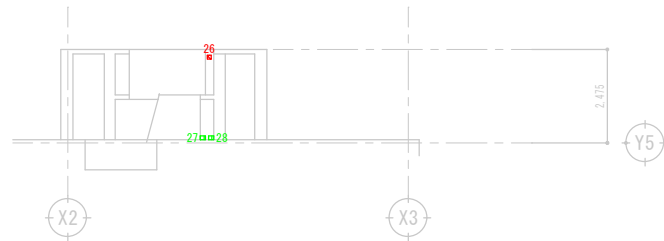
屋外階段 1階平面図 S=1/100



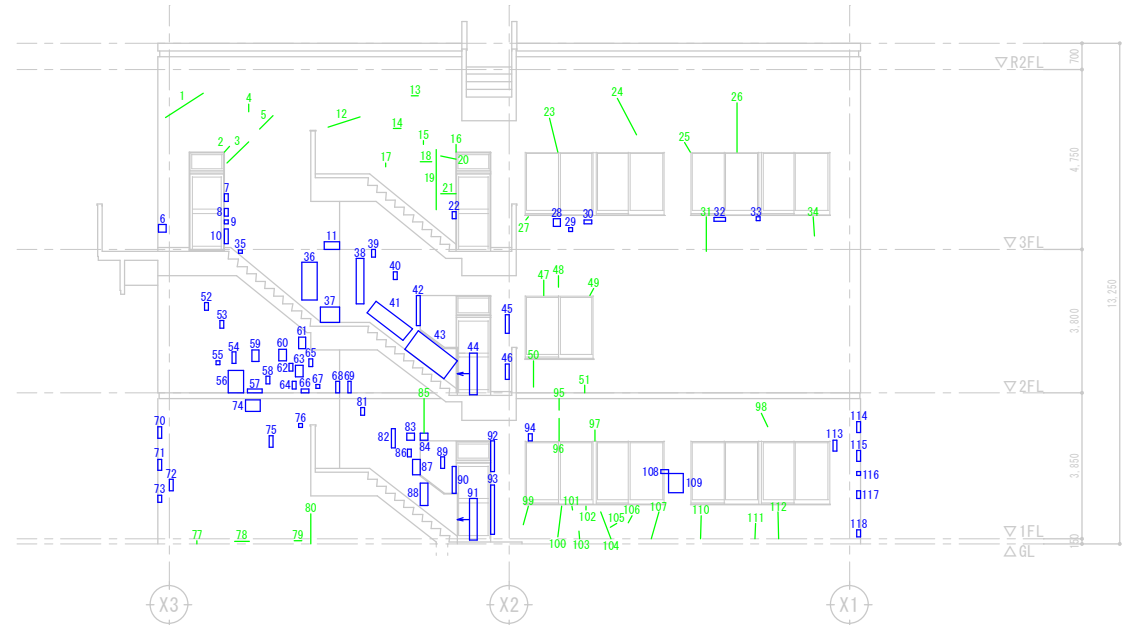
屋外階段 3階天井伏図 S=1/100



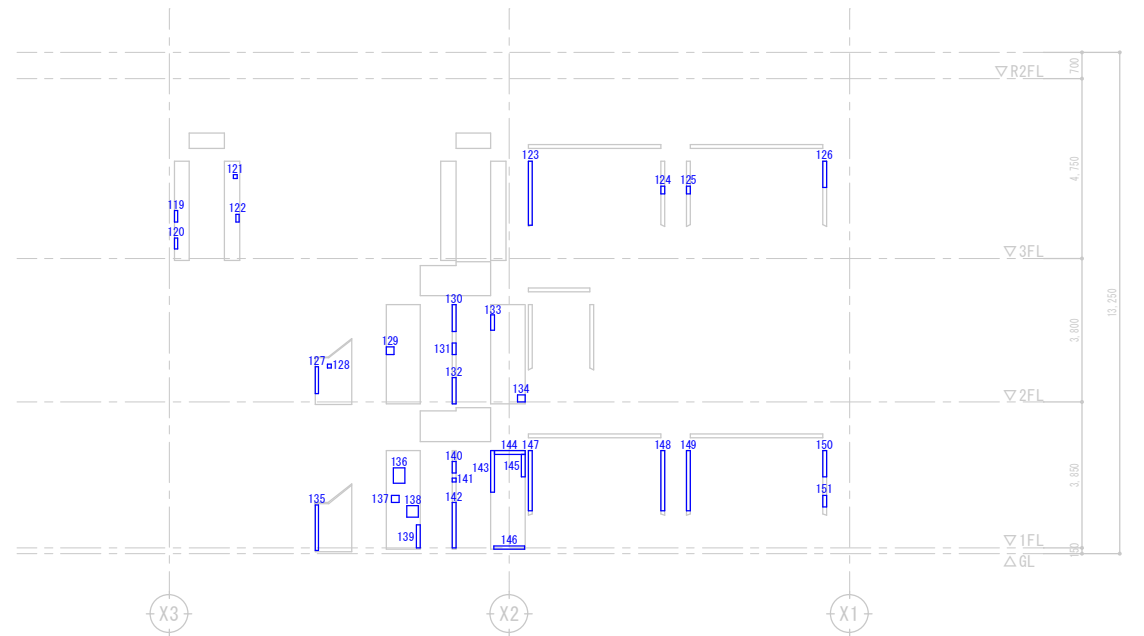
屋外階段 2階天井伏図 S=1/100



屋外階段 1階天井伏図 S=1/100

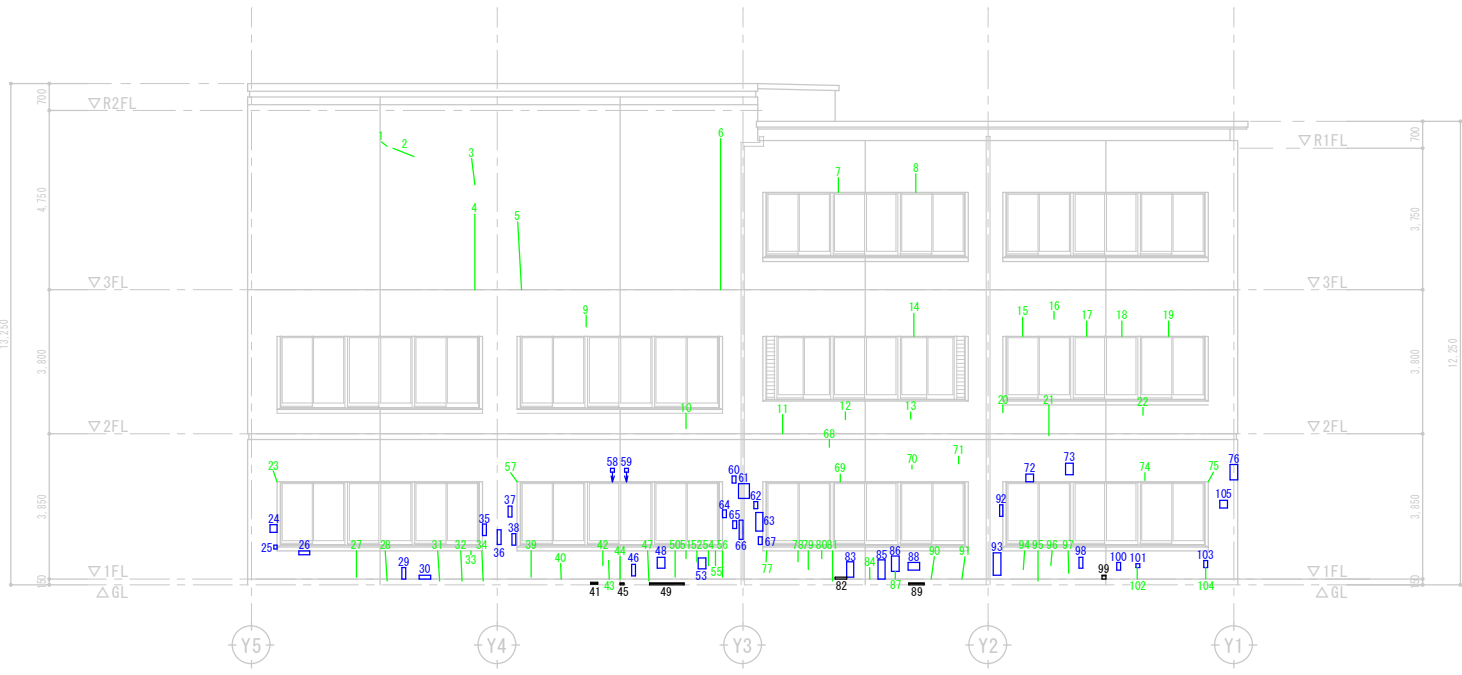


西面 壁面図 S=1/100

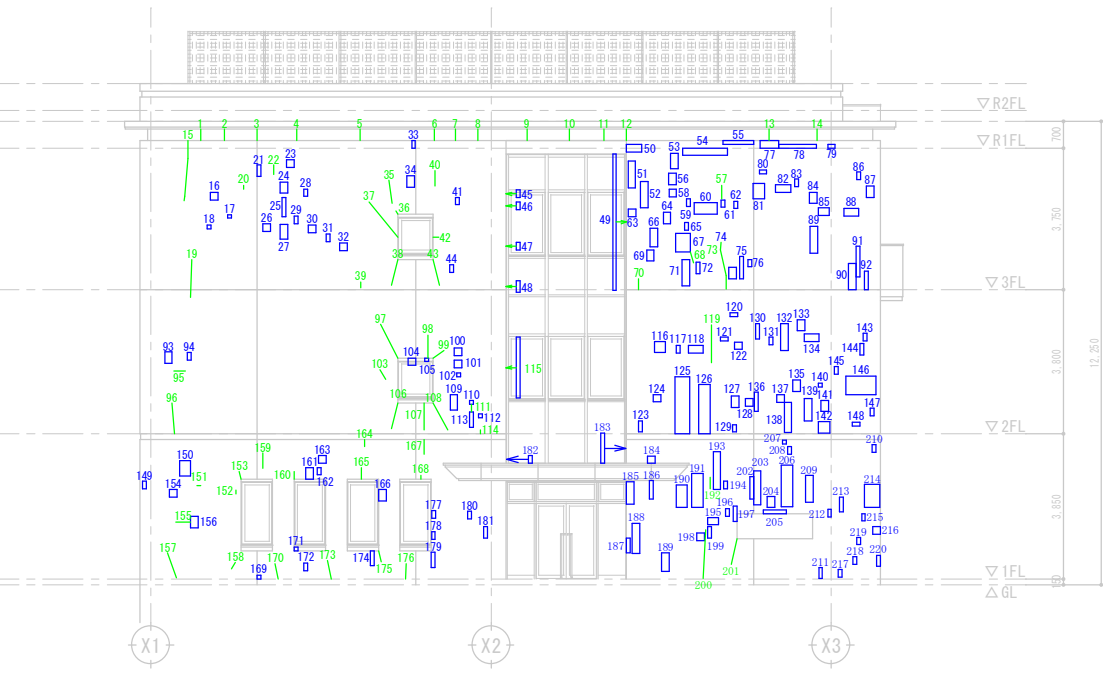


西面 窓ダキ・見上げ S=1/100

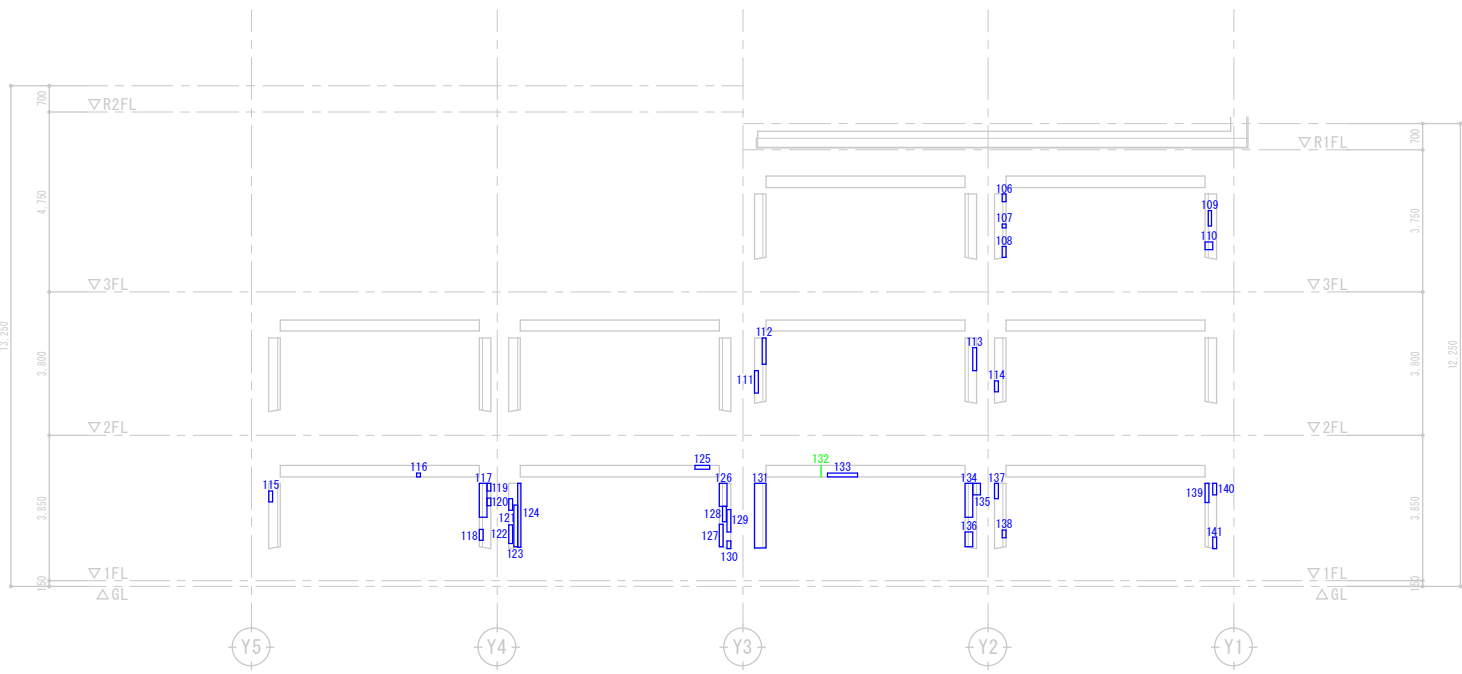
特記事項	一般財団法人 久留米市開発公社		設計事務所 (建築) 〒829-0852 福岡県久留米市新金川2丁目4番7号 K&Z建築設計内 TEL&FAX: 0942-43-6532	設計 久留米建築設計協会 一般建築士事務所 保坂 賢吾 一般建築士 第 24393号 1級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-00206号	担当 (建築) 木村 昭文 一般建築士 第 341265号	工事名称 公会館外壁改修工事	図面名称 外壁下地改修図(4)	縮尺 A1---1/100 A3---1/200	図面番号 A-19
	協同組合 久留米建築設計協会		設計協力事務所 (構造・電気・機械)	担当 (建築) 本村 和也 一般建築士 第 24393号					



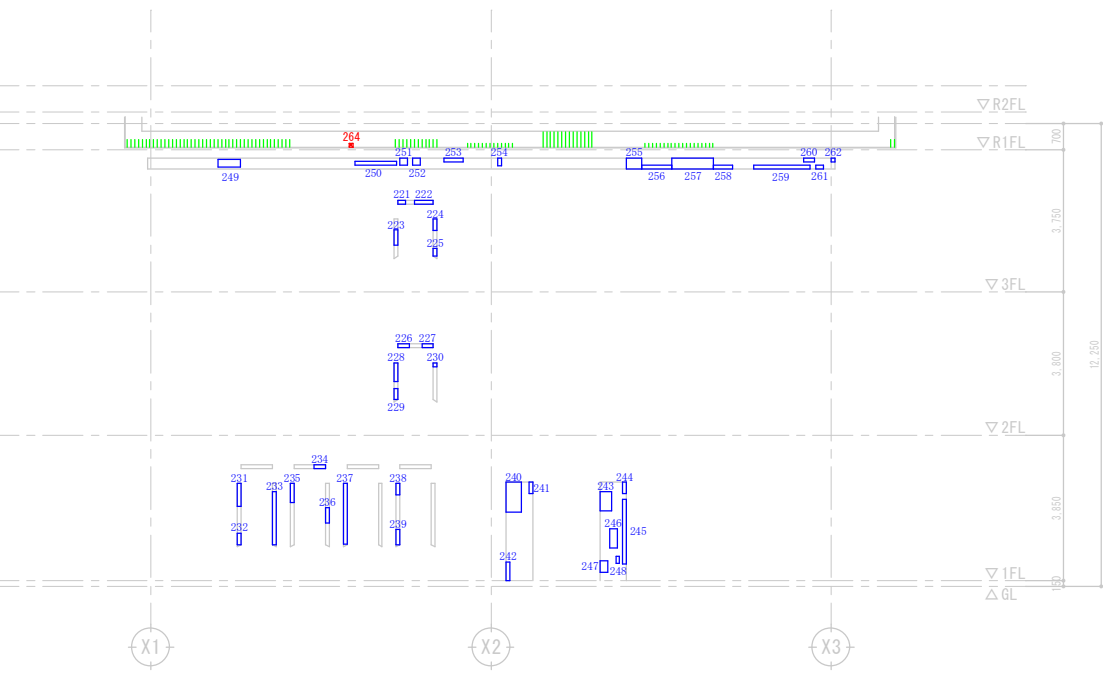
南面 立面図 S=1/100



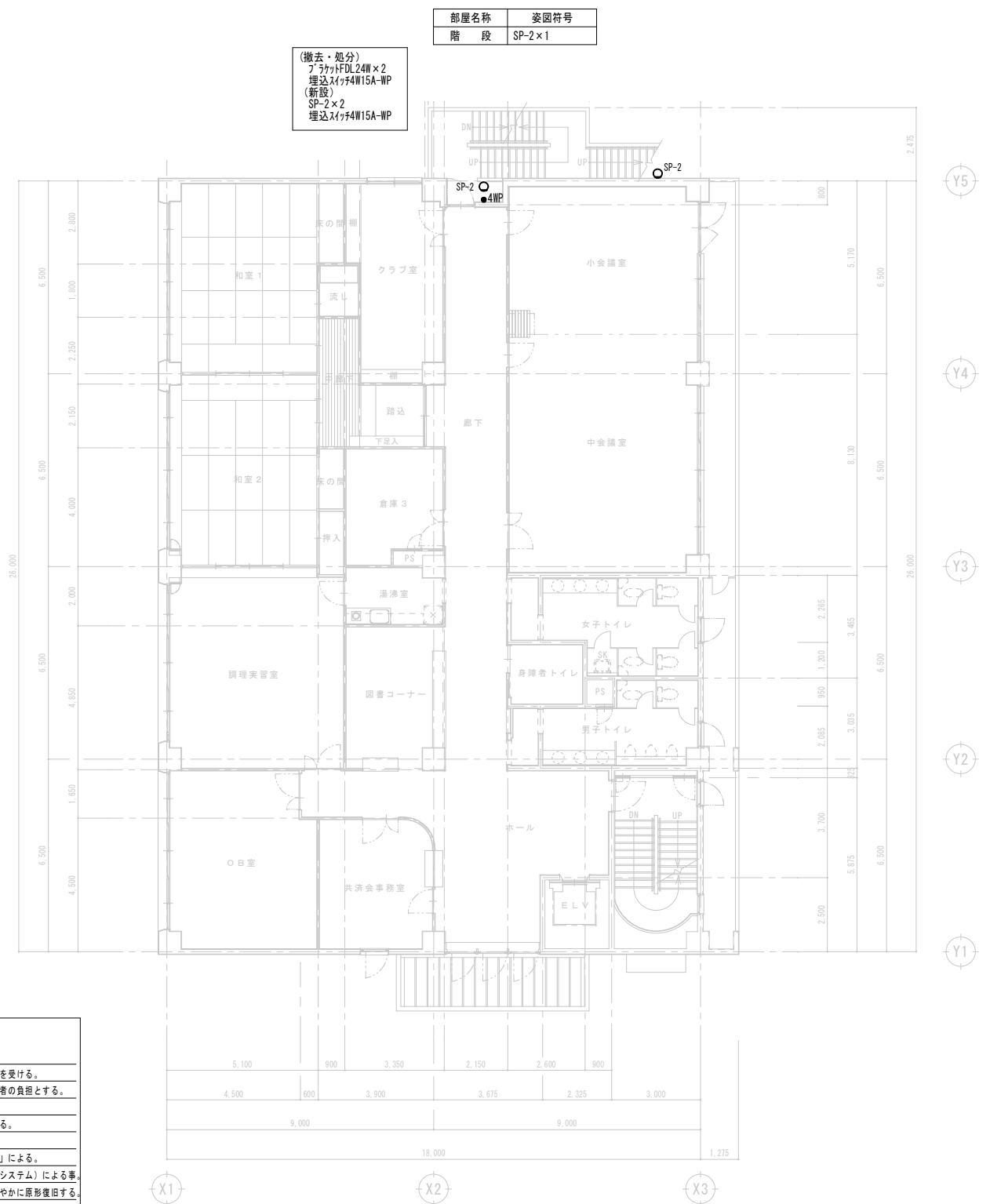
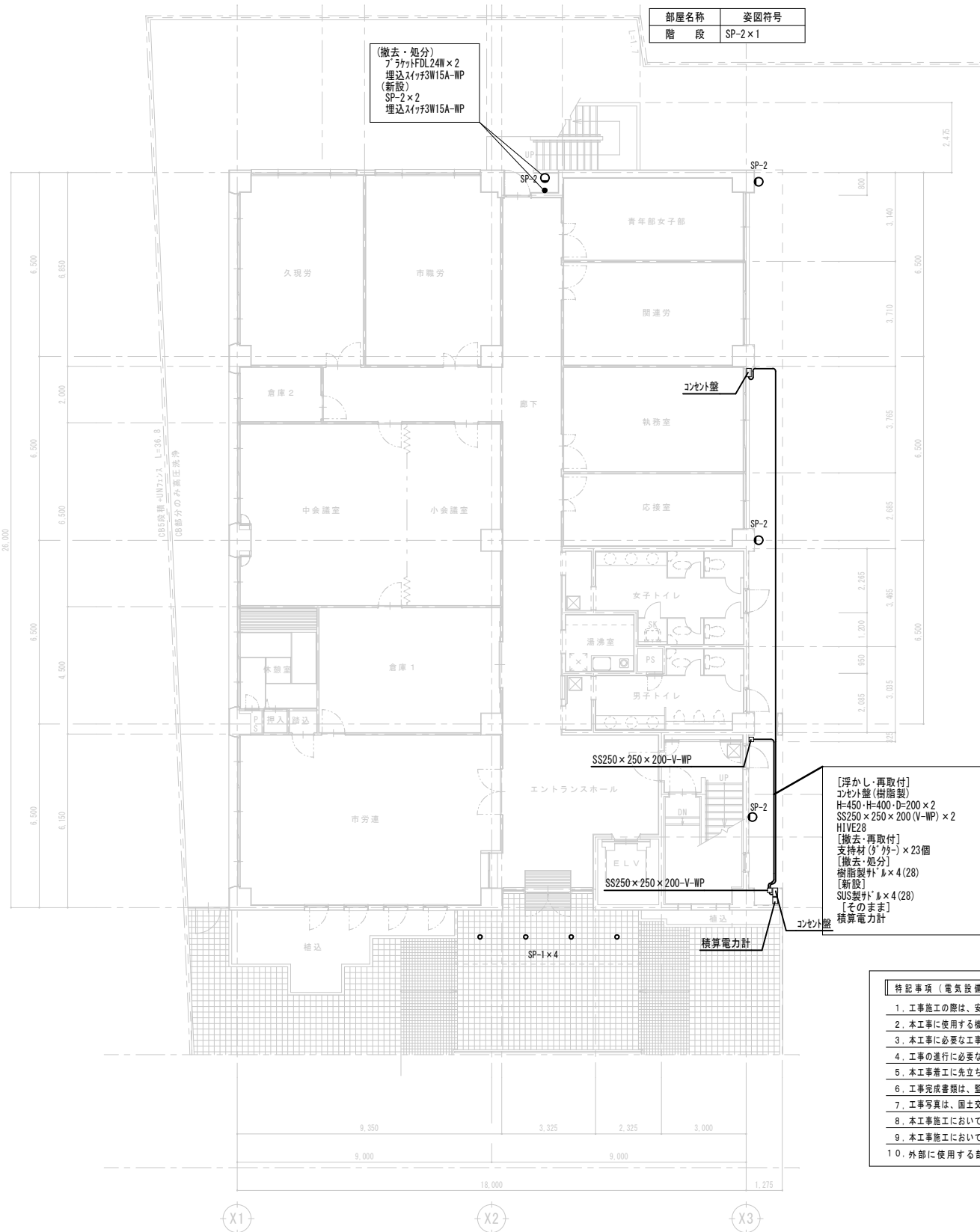
東面 立面図 S=1/100



南面 窓ダキ・見上げ S=1/100



凡例・数量表														
劣化状態	符号	大きさ	工法	部位	単位	凡例	東面 総計数量	西面 総計数量	南面 総計数量	北面 総計数量	平面 総計数量	階段 総計数量	合計 総計数量	
露筋	A1	0.1×0.1未満	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所		0	0	0	13	0	0	13	
	A2	0.1×0.1未満	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所		1	0	0	4	0	6	11	
	A3	0.1×0.3未満	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
	A4	0.1×0.3未満	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
	A5	0.1×0.8未満	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所		0	0	0	1	0	0	1	
	A6	0.1×0.8未満	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
	A7	0.1×0.8以上	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	m		0	0	0	0	0	0	0	
	A8	0.1×0.8以上	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	m		0	0	0	0	0	0	0	
	A9	0.25m超	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	m ²		0	0	0	0	0	0	0	
	A10	0.25m超	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	m ²		0	0	0	0	0	0	0	
	A11	Pコン	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
欠損	B1	0.1×0.1以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所	0	0	0	1	0	0	1		
	B2	0.1×0.1以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所	0	0	0	0	0	0	0		
	B3	0.2×0.2以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所	0	0	0	1	0	0	1		
	B4	0.2×0.2以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所	0	0	0	0	0	0	0		
	B5	0.4×0.4以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
	B6	0.4×0.4以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
	B7	0.5×0.5以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	箇所		0	0	0	0	0	0	0	
	B8	0.5×0.5以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	箇所	0	0	0	0	0	0	0		
	B9	0.5×0.5超	エポキシ樹脂モルタル充填工法	一般部	m ²	0	0	0	0	0	0	0		
	B10	0.5×0.5超	エポキシ樹脂モルタル充填工法	指定部	m ²	0	0	0	0	0	0	0		
	B11	タイル欠損	タイル貼替	一般部	枚	0	0	21	1	0	0	22		
ひび割れ	C	0.2mm以上	ノンカットフィルム工法	m		0	0	0	76.5	0	6.4	82.9		
モルタル浮き	D1	0.25m未満	アンカービニング部分注入工法	一般部		m ²		0	0	0	0.23	0	0	0.23
	D2	0.25m未満	アンカービニング部分注入工法	指定部		m ²		0	0	0	0.08	0	0	0.08
	D3	0.25m未満	アンカービニング部分注入工法	狭幅部		m		0	0	0	0	0.8	0.7	1.5
	D4	0.25m以上	アンカービニング全面注入工法	一般部		m ²		0	0	0	0.62	0	0	0.62
	D5	0.25m以上	アンカービニング全面注入工法	指定部		m ²		0	0	0	0	0	0	0
タイル浮き	D6	0.25m以上	アンカービニング全面注入工法	狭幅部	m		0	0	0	0.3	1.8	0	2.1	
	D7		アンカービニングタイル隠蔽工法	一般部	m ²		13.92	7.45	4.01	3.24	5.65	0.23	34.50	
3/4ひび割れ		0.5m以上	アンカービニングタイル隠蔽工法	一般部	m ²		0.6	0.78	0.51	0	2.19	0	4.08	
	差込み浮き	E	0.2mm以上	タイル貼替	m			26.30	23.50	34.40	5.90	1.50	0	91.60
		F	差込み浮き	O-2工法	m ²			2.04	0	0	1.42	0	0.23	3.69



特記事項（電気設備）

1. 工事施工の際は、安全対策に十分留意し、火災及び事故の防止に努めること。
2. 本工事に使用する材料等は、メーカーリストの同等品等以上とし監督職員の実検を受ける。
3. 本工事に必要な費用は、官公庁への申請手續などその費用は、すべて請負者の負担とする。
4. 工事の進行に必要な官公庁への手続きは、請負者で速やかに行う。
5. 工事完了前に先立ち工事図 納入仕様書等を提出し、監督職員の承認後、着工する。
6. 工事完成後期には、監督職員からの指示により提出すること。
7. 工事写真は、国土交通大臣官庁官庁管理施設整備「工事写真の取り方建築設備編」による。
8. 本工事箇所において発生した、全ての廃棄物は産業廃棄物処理（マニフェストシステム）による事
9. 本工事箇所において既存施設に破壊、汚損が生じた場合請負者の負担において速やかに原形回復する

10. 外部に使用される部材・支保金具は、SUS製とする

Ⅱ. 工 事 仕 様	
1. 共 通 仕 様	
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁常務部監修の公共建築工事標準仕様書及び公共建築設備工事標準図による（いずれも令和4年版電気設備工事編） 住宅工事は公共住宅設備工事共通仕様書による（令和4年度版） 又、施工に關しては電気設備工事監理指針（令和4年版）による。 アスベスト成形板の処理は、「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）令和4年度版」及び「久留米市アスベスト（石綿）等除去改修工事標準仕様書」に基づき適切に処理を行うと共に ノンアスベスト製品を使用すること。	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁常務部監修の公共建築工事標準仕様書及び公共建築設備工事標準図による（いずれも令和4年版電気設備工事編） 住宅工事は公共住宅設備工事共通仕様書による（令和4年度版） 又、施工に關しては電気設備工事監理指針（令和4年版）による。 アスベスト成形板の処理は、「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）令和4年度版」及び「久留米市アスベスト（石綿）等除去改修工事標準仕様書」に基づき適切に処理を行うと共に ノンアスベスト製品を使用すること。
	残土処理
	改良土プラント持込 構内敷出し ○ 構内指定場所へた積み
	再使用機器
	絶縁抵抗 改修した再使用機器は、構内及び絶縁抵抗測定後、機能及び状態を確認の上取付ける。 改修にかかわる電路については、施工前に絶縁抵抗を測定し監督員に報告する。

処分条件	
建設副産物の処理については、再資源化に努めるとともに、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進委員「促進」指定された方法により適正に処理を行うこと	
また、工事に際しては、工事着手時に「産業廃棄物処理計画書」、工事竣工時に「産業廃棄物処理報告書」を提出すること	
分別品目	処分条件
・がれき類 （コンクリート塊、アスファルト） ・廃プラスチック ・樹木 ・ガラス、陶磁器くず ◎塗 風 ぐ ず ・廃 P C B 等	◎中間処理場へ搬出 ・「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正処理の推進に関する特別措置法」に従い、届け出をし保管できるように施設管理者に引き渡す。

特記事項

一般財団法人 久留米市開発公社
協同組合 久留米建築設計協会

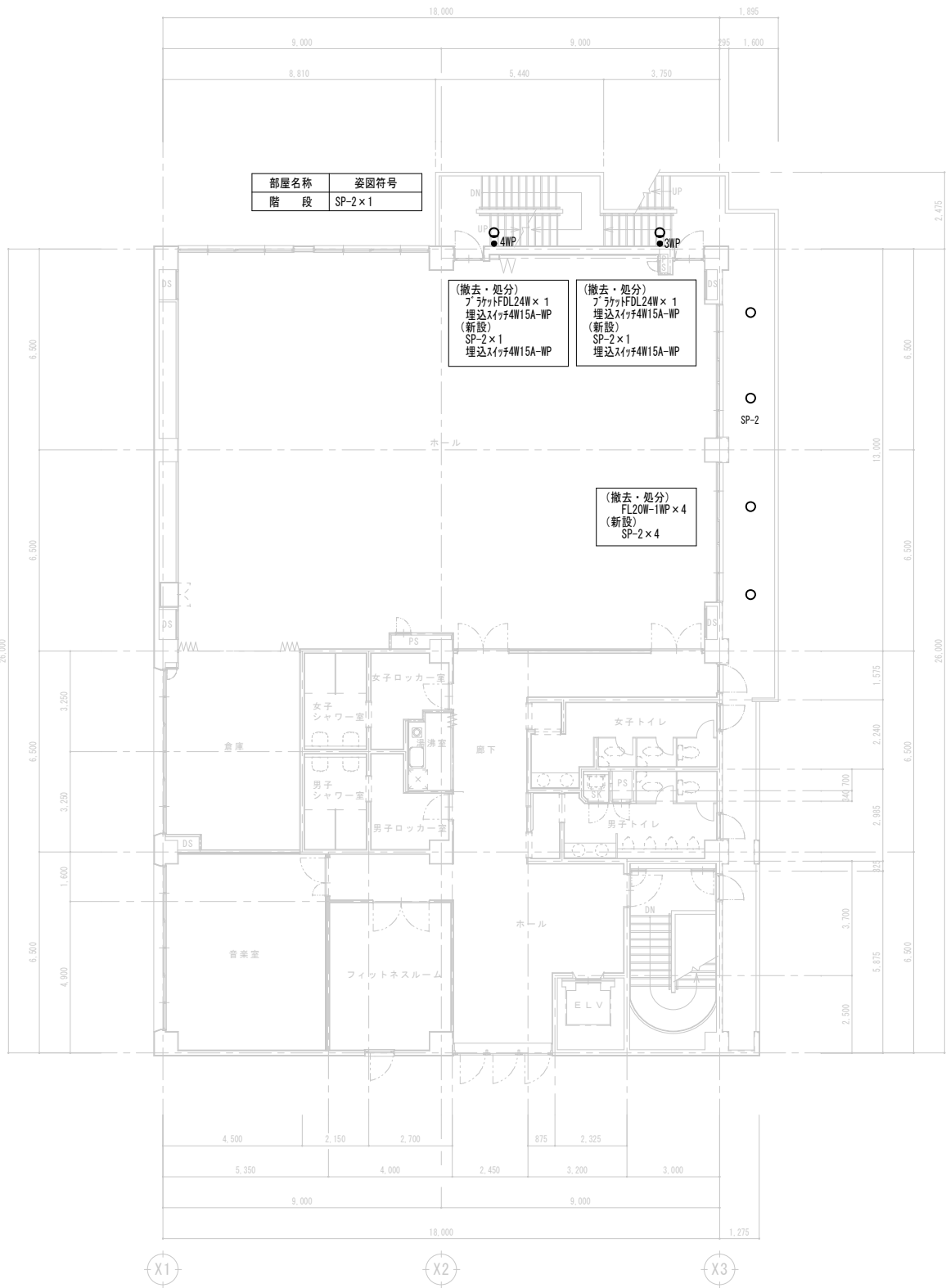
協同組合 久留米建築設計協会

設計事務所（建築） 〒839-0865 福岡県久留米市新合川2丁目4番7号 Kaizu建築設計内 TEL&FAX: 0942-43-6532	留 久留米建築設計協会 一級建築士事務所 保坂 賢吾 一級建築士 第 243939号 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-60206号
設計協力事務所（電気・機械） 合同会社 高松企画設備設計	

担当（建築） 木村 昭文 一級建築士 第 341265号	
担当（建築） 本村 和也 一級建築士 第 249090号	

工事名称 公会社会館外壁改修工事	設計年月日 R8.02
図面名称 電気設備 1階・2階 平面図	縮尺 A1---1/100 A3---1/200
	図面番号 E-01

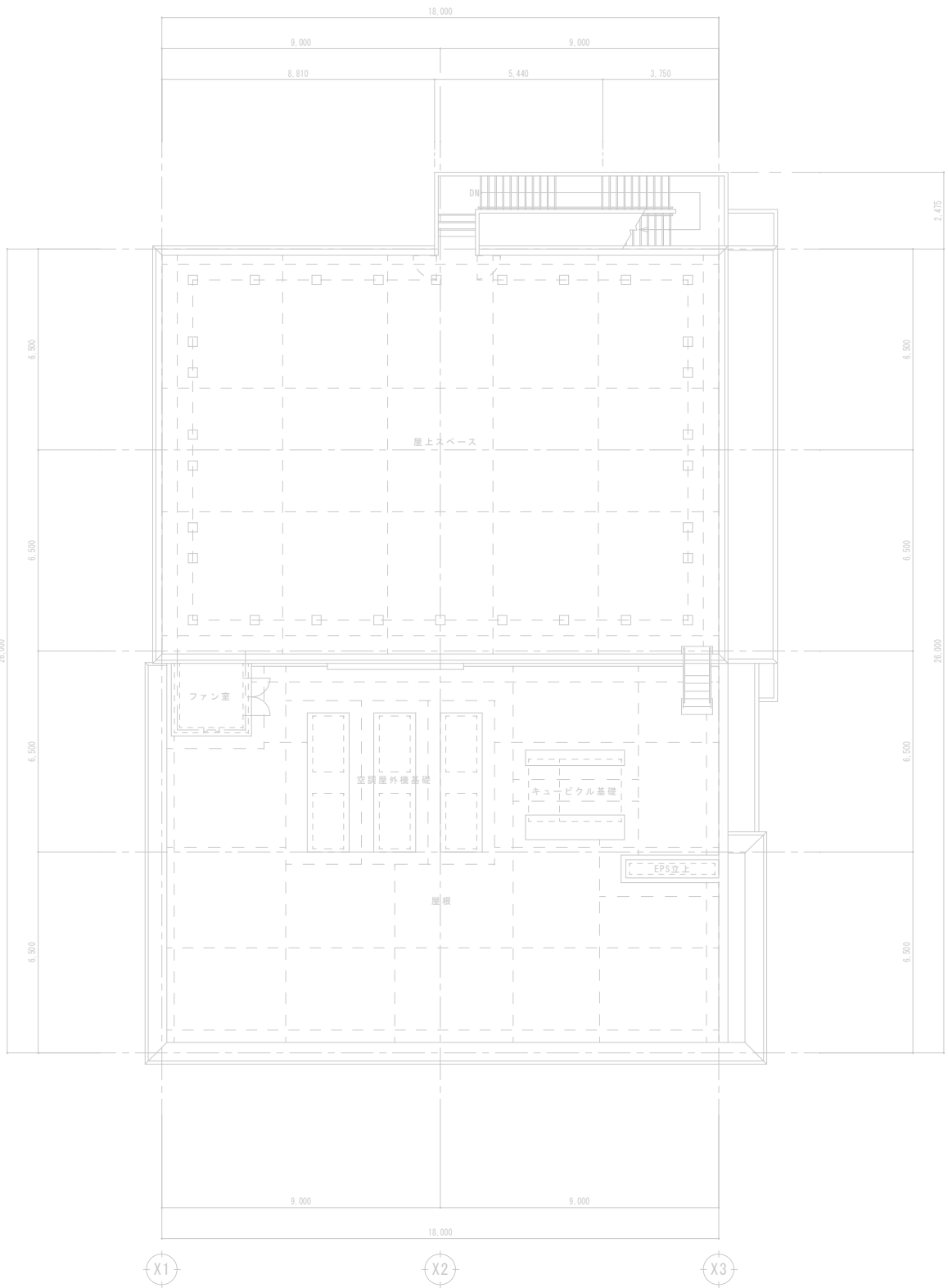
工事名称 公会社会館外壁改修工事	設計年月日 R8.02
図面名称 電気設備 1階・2階 平面図	縮尺 A1---1/100 A3---1/200
	図面番号 E-01



3 階 平面図 S=1/100

Y5
Y4
Y3
Y2
Y1

部屋名称	姿図符号
庇	SP-2×4



R 階 平面図 S=1/100

Y5
Y4
Y3
Y2
Y1

